京城日報

廿二日夕刊

定價　紙代　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十錢（郵送料前金）三ヶ月金壹圓九十錢　六ヶ月金參圓七十錢▲郵券代用二割増
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲雜報欄內一行金壹圓貳拾錢▲場所指定一行金拾錢増▲三號活字の一行は二號活字同樣▲六號活字の一行は五號活字同樣の事
發行兼編輯人　奥田直穀
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號　編輯用三四五番　營業用三二六番　一二一〇番　一六〇〇番　振替貯金口座京城三〇四番

廣東の形勢定まる

督軍陸榮廷＝省長朱慶瀾＝岑春煊隱退

廣東來電に依れば、岑春煊氏は布告を發して曰く督軍の任は陸榮廷氏に歸し龍濟光氏は近く退却することゝなり廣東問題も一段落を告ぐるに至りたれば兩廣都司令部は撤退し爾今廣東の軍政一切の指揮は督軍陸榮廷氏省長朱慶瀾氏より受くべし予は休養の爲め暫く肇州に退隱すべしと（北京特電）

十二省同盟の成立

張勳の首唱になる十二省同盟成立せり而して支那政府は之に對し反對を聲明せり（北京電報）

支那交渉遷延に努む

林公使は鄭家屯事件に就き繼續會見を要求せるも支那政府は唐外交總長未だ來任せざるを理由として交渉の遷延に努めつゝあり（北京電報）

クリート島に革命起る

巴里ハヴアス通信員の報ずる處によれば希臘クリート島に革命勃發し革命軍は假政府の設立を宣言せり（紐育電報）

希臘中立態度を脱す

雅典來電に依れば、希臘王首相、外相等は目下の形勢を研究せる後遂に協商國側の希臘に對する不信を輕減せしめんが爲に大體に於て中立態度を脱するに決せり（紐育電報）

希臘俄に蹶起か

態度不明の希臘は聯合國側と戰爭參加に關する商議進行中にして俄に蹶起するに至るべしとの說あり（紐育電報）

佛軍勃軍の逆襲を撃退す

佛國公報に曰く、サロニカ方面の我軍はフロリナ東方のブロド河地方に於て砲兵掩護の下に行はれし勃軍の逆襲を撃退せり敵は我左翼に當るビツデン北方の高地にて倘ほ抵抗を續け居れり（倫敦電報）

軍需注文行惱

今回募集せる露國債券七千萬圓は當注文にかゝる軍需品代支拂に充當せらるゝ事となりし爲露國政府と當業者間に於ける新規軍需品注文引受交渉は行惱を來せり（東京電報）

政務總監招宴

山縣政務總監は既記の如く二十二日午後零時三十分より入京中なる押川製鐵所長官一行を朝鮮ホテルに招待午餐會を開けり總督府側よりは山縣政務總監宇佐美內務部長官、大屋鐵道局長官、小松翰長、中村技師高橋武官、村田鑛務課長、加藤鐵道局經理課長、遠藤秘書官、藤波通譯官等參列したり

軍司令官出發

軍司令官秋山中將は豫報の如く安藤高級參謀、野沐副官を隨へ二十二日午前九時龍山發北鮮守備隊視察の途に上れり

水道會議出席

日本水道會議は十一月初旬京都に於て開催の筈なるは本紙既記の如くなるが總督府よりは土木局技師鈴木坂鐵及び總督府醫院醫官田中丸治平の兩氏出席のことゝなれり

押川長官行程

押川製鐵所長官一行は二十三日午前九時十分南大門驛發汽車にて退京二十四日は兼二浦鐵山を視察し二十五日鎮南浦に一泊二十六日兼二浦に赴き其れより安東縣に向ふ豫定にて兼二浦までは村田鑛務課長同道の筈也

船舶規則改正

朝鮮船舶職員合施行規則中改正の件朝鮮船舶職員試驗規則中改正の件並に朝鮮水先合施行規則中改正の件は九月廿五日附府令を以て公布さる可く其施行期日は何れも十一月一日也

定例長官會議

二十二日は定例長官會議當日なるより山縣政務總監以下各部長官局長主要所屬官署の長等は同日午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

京城府協議員會

京城府にては府內の屠獸場の統一を圖り衛生的設備を完備せんため來る二十六日府協議員を召集し諮問に附することゝなりたり

清潔及消毒法改正

清潔方法及び消毒方法中改正の件は九月二十五日附府令を以て公布せられ發布の日より施行の筈なり之れが改正の目的は虎疫豫防の萬全を期するに在ること無論なる可し

獸疫檢查手當

獸疫檢查委員手當及び旅費支給規程は廿五日附府令を以て發布同日より實施の筈なるが同規則は全文十四條より成れり

野田副總裁歸任

湖南線地方產業狀況視察中なりし東拓副總裁野田卯太郎氏は二十一日午前群山發同夜九時南大門著列車にて歸任

有賀一部長視察

有賀京畿道第一部長は山內書記を從へ仁川虎列拉防疫狀況視察の爲廿二日朝南大門驛發列車にて同地に出張せり同日午後歸任の筈

咸南遞信狀況視察

手塚遞信局事務官は廿三日出發往復十日の豫定にて元山永興西湖津咸興地方に於ける鐵道郵便及び遞送集配狀況視察の爲め出張せり

庄司囑托轉任

外事課囑托庄司捨藏氏は今回臺灣總督府外事課囑托に轉任の事となり二十三日午後七時五十分南大門驛發汽車にて出發赴任す

宇都宮視察團

入京中なりし宇都宮視察團一行二十七名は二十二日朝南大門驛發汽車にて退京せり一行は二十二日仁川視察の豫定なりしも同地は虎疫猖獗の爲め之れを見合はせ一日を繰り上げて出發したり途次平壤及び鎮南浦視察の上滿洲に向ふ筈なり

工專修學旅行

京城工業專門學校職員生徒八十九名は廿二日朝開城へ修學旅行を爲したり

岩手縣人會

京城在住の同縣人を以て成れる岩手縣人會は今般朝鮮銀行滿州經濟狀況視察員として派遣を命せられたる高橋武夫氏の送別宴を兼ね廿二日午後五時料亭白水に例會を開催す

阿部本社長歸京

木浦光州全州群山地方狀況を視察中なりし阿部京城日報社長は二十一日午後九時南大門著列車にて野田副總裁と同行歸京したり

東拓米作豫想

東拓に就き本年の米作豫想を聞くに其の大體に於ける作柄は總督府の發表と同樣なるが何分本年は出水の害頻々として來り加ふるに先般來冷氣の襲來例年に比し速かなりし爲め其の結實氣遣はれ今秋は存外鐵入れの不足を見ずやと思はる然も其の被害が米產の中心地全南全北慶南忠南の各道に甚しかりし爲め一層產米の成績氣遣はるゝ次第なり唯會社所有地一萬町歩を有する黃海道は作柄頗る良好にて既に日の出種の如き收獲に着手したるが米質頗る良好なるも要するに南鮮方面は例年より聊さか減ずべく西鮮豐收なりと顯も目下の所會社所有地の米作は稍平年作を下らずやと觀測し居れり

大田中學敷地

忠南大田は湖南線の分岐點にて氣候風土和順にして水質最も良好なる爲め未た惡疫の流行せし事なく忠清南北全羅南北に通ずる便益の地にして中學校設立地としては最も好適地なるを以て本年一月三十一日附を以て大內仁見外三十名の學校組合及び大田協議會員連署を以て總督府に中學校設立の件請願する所あり他地方と競爭又は運動がましき行動に出でずして當局者に必適の理由を陳じ五月請願せしに本月十四日附を以て道廳より受納の通知に接したり而して弓削學務課長は南鮮學事視察の途中二十日來田金郡守及び內藤管理者等の案內にて四箇所の地所を視察せしが何れ共確定せずして午後五時二十八分發にて歸京せり

大阪より

頭來株式界は聊か熱狂の氣味あると共に有價證劵界の人氣は自然此方面に趨り一時旺盛を極めたる對社債熱は昨今漸次薄らぎ較輕視の傾向を認むるに至りしかば向後社債發行の流行は株式市場が幾分平靜の狀態に歸する迄は幾分衰微するを免れざるべく從がつて財界の人氣が社債に傾倒すべく時期少しく遲れ氣味の觀あり

▲大阪府農商課技師阿部孝太郎氏は約三十日間滿洲方面に於ける我商工業材料並に森林事業狀態の調査を遂げて歸阪せり曰く、滿洲に於ける森林の分布は鴨綠江の上流松花江の中流より內興安嶺一帶に亙り居り內興安嶺の如きは露人の伐木盛んにして其森林の利用せらるゝ事實に鑑み竊く可きものあるに反し滿洲に於ける樹木の分布は密林鬱蒼たるに拘らず斧鉞未だ入らず邦人の之に對して冷淡なる亦驚くべきものあり

▲用材としては針葉樹の紅松、落葉松、瀾葉樹の楢胡桃（銃身用）シナノキ、楊木（燐寸の用材）等を其の主なるものとしパルプの原料として唐檜シラベベラ樅等あり

▲松花江の通航權が果して木材の運搬を含むかは疑はしきも爲替相場の變動を熟知すれば如上の森林に產出する木材を伐採して其の產業的利得を致す事は決して難事にあらず滿洲の地を森林の方面より觀れば木材は需要地にはあらずして其の供給地たる事を忘るべからず而も邦人が之等の點に眼を著けずして內地より木材を滿洲に輸入せんとするは迂闊千萬なり

▲爲替相場のルーブルの下落により近頃滿洲產木材の頻々として內地に輸出せられつゝあるは事實なるもルーブルの相場昂騰せる時は內地より輸入する事は難事にあらず更に工場の建設に要する木材の如き極めて廉價に購入し得るが故に滿洲に於ける森林業の前途は洋々たるものあり況んやパルプが支那紙に千萬圓の需要ある今日日本材木企業者の奮起を望む

元山

▲元五間航路　從來朝鮮郵船會社永興丸就航中なりし元山五里浦間航路は二十一日を以て斷然廢止せらるゝ事となり同船は近く釜山方面に廻航する筈なるが永興丸廢航後元山五里浦間航路は元山水產會社支店に於て同社所屬の朋太丸を以て經營するの計畫にて目下同船は元山深井造船所に托し修理中なれば來月初旬頃より運航の開始を見るに至るべしと▲稅關所長會議終了　全鮮稅關稅務主任打合會議に引續き元山稅關內に於て開催中なりし元山稅關管內支署出張所長會議は廿一日を以て全部終結を告げたれば出席者は廿二日の便船にて各々歸任の筈なり▲弓術大會　元山旭町丸山大弓場に於ては全市の同好者を募り來る二十三日二十四日の兩日をトし秋季弓術大會を擧行すべしと▲中道長官　過般來元山附近巡視中の中道長官は二十一日試乘列車にて永興に向ひ一泊二十二日更に元山に引返し同夜出帆の便船にて歸任

春川

▲聯隊長歡迎宴　來春中の富塚聯隊長歡迎宴は官民有志の發起により十九日午後七時より淡路屋に於て開催されたるが主客十二分の歡を盡し午後十時無事閉會せり▲郡書記異動　寧越郡庶務主任君田氏は蔚珍へ蔚珍同柏木氏は伊川へ伊川同林德一氏は楊口へ楊口同平田氏は麟蹄へ麟蹄寺島氏は旌善へ旌善吉氏は寧越主任へ麟蹄池田良へ何も十五日附を以て轉任の命に接したり

大田

▲學生來田　水原農學校生徒二十八名は職員に引率せられ湖南線にて二十二日正午來田當地視察の上午後五時發にて鳥致院の筈又福岡縣鹿學校生徒六十五名及職員三名廿二日午後五時來田一泊の上湖南線に入る筈なるが或は都合に據り一兩日延著するやも知れずと▲伏越改築　全北益山郡臨益南部水利組合にては第四號伏越は從來木造なりし爲め多少不完全の點ありしが之れが改築を計畫中にて本月二十日評議員會を開き決定を見る筈にて改築用材はコンクリートにして工費約一萬を要する由

大邱

▲兵營工事近況　大邱兵營工事は本年度計畫將校宿舍二十六棟中は已に九分通りの竣工を了し來年度は二十九棟を建築する筈聯隊は本年度聯隊本部兵舍二棟將校集會所其他小建築物十數棟建築の筈にて將校宿舍は已に上棟を了し第一兵舍は廿一日足場を造り本月末には上棟を了すべしと▲達城慶山道路改修　多年の宿題なりし達城郡農學校前より慶山に至る道路は今回愈々設計に著手する事となり地方民よりも賦役以外數百圓の金を醵出し十一月までには新川架橋を了し次で道路改修に著手すべしと▲高等普通敷地選定　大邱高等普通學校は目下元協成學校內に授業しつゝあるも來年度は一學年二學級の增加にて現校舍狹隘を告ぐるを以て是が新築をなすべく敷地選定中なるが廿一日大塚總督府屬來邱諸所調査する所ありしが候補地として中央面國南山町大邱寺畔東南の平地適當なるも未だ決定には至らず▲虎疫豫防訓示　大邱警察署にては虎疫豫防を勵行すべく二十一日特に府內日鮮旅館、料理屋、飲食店數百名を署に召集し掃除、消毒、飲食物、飲料水、食器、寢具、塵埃、其他の心得に就き懇々訓諭ありたり▲松波書記著任　慶北高靈より達城郡廳に轉命されたる松波郡書記は二十二日著任▲活動常設館落成　大邱古川文之助氏經營にかゝる常設活動寫眞部は總面積百二十四坪觀覽者八百餘を收容し衛生、品位共に俱に備はれる建物なるが愈々本月中に全部落成を告げ十月早々より開業する筈

釜山

▲釜山檢疫委員　虎列拉は益々猖獗し最早西南の方面順天、釜山、仁山、群山、晉州、三千浦方魚津の各地に發生し益々蔓延の兆あるより總督府にては其豫防につき各道警務部に檢疫委員を置く事となりたるが釜山警察署內にも支部を設置せられ檢疫委員として橋本署長、細場、大津、黑川各警部、吉村港警官、土方港吏、朱雀、近石、山田各檢疫醫等は二十日附を以て任命されたるが從來主として海港檢疫に從事したるも今後は海陸兩方面に亙り檢疫豫防に努め且事務を取扱ふ事となれり▲各學校長會議　釜山學校組合管內各小學校長は例會を廿日第一尋常にて開會したるが教授訓練に關する協議を遂たる後虎疫豫防上の協議をなし若し萬一蔓延の場合は秋季大運動會を中止する事あるべしと決議す▲前田部長衛生視察　前田本道警務部長は小野警部を從へ廿日來釜せしが翌廿一日は釜山警察署に於て午前中種々なる打合事項あり午後神仙臺停留所の狀況視察をなしたるが廿一日別項の如き講話をなし廿二日府山方面に出張當地の衛生其他につき視察すべし▲兵庫視察團出發　兵庫縣農會滿鮮視察團長織田賢太郎一行十七名は二十一日午前八時より釜山青物市場穀物市場米穀檢查所等を視察し正午商業會議所に於て兵庫縣人會長大池庄太郎氏は歡迎の挨拶をなし織田氏團員總代を以て答辭を述べ晝食を了し午後牧之島大池第二精米所を視察し尚大池のランチにて港內を巡遊して午後十一時發にて水原に向ふ

木浦

▲海藻回著高　八月中當地に回著したる海草は眞布六千三百七十九斤並布八萬千二百四十六斤天草三萬三千四百九十三斤櫻草四千百十六斤銀杏草一萬二千七百九十八斤イギス千百廿斤計十三萬九千百五十二斤にして一月以降累計六十萬九千六百六十一斤也と▲木浦戶口數　八月末現在の木浦府內鮮人戶數は內地人千二百三十四戶男二千四百廿八人女二千百六十四計四千五百九十二名鮮人千八百八十五戶男四千十二女三千四百卅一計七千四百四十三名也と▲軍人會決算　木浦在鄉軍人會にては去る十七日夜評議員會を開き大正四年度決算の承認を得たるが總收入額三百六十三圓九十八錢の內支出額經常費二百十八圓五十九錢臨時費百二十二圓六十錢にして差引二十二圓七十九錢を翌年度に繰越したり▲杉村檢事榮轉　明治四十五年以來木浦法院支廳上席檢事として勤續し官民上下に最も信望ありし杉村逸樓氏は大邱覆審法院次席檢事に榮轉せり後任は馬山支廳上席檢事堀江幸市氏なりと同檢事送別の爲め鮎川、橋本、林、福田、山野、高根の諸氏發起となり二十五日午後七時公會堂に於て張宴すべし因に同氏は二十八日頃出發の豫定なりと▲吉村校長出發期　手工科教授及び各地女學校施設狀態視察の爲め群山京城鎮南浦馬山へ出張を命せられ二十三日出發の筈

人事消息

▲村田素一郎氏（鑛務課長）二十三日北部地方へ出張
▲押川則吉氏（製鐵所長官）二十三日朝退京
▲ベフトレル氏（京城露國領事）廿二日午前出發佐賀へ
▲白井水城氏（開城辯護士）所用にて廿二日朝入京

豆滿江畔より（三）

文哉生

慶興より雄基まで九里、雄基嶺は上り半里下り一里頂上の遠望は殊に妙に候、加ふるに九月の秋を以てす、馬上の寫意御推察に任せ申候（九月十二日雄基にて）

馬上回看閑們流、雲横檣鎖路悠々、放心不得男兒志、天地風情九月秋、

○

雄基灣頭月最も好く風最宜敷候

恰好今宵秋正中、窓前加有一襟風、無邊大水無邊月、欲問古人斯感同、

又一首

幸在旅窓鯨海濱、中秋今夜最何因、閱々大鎮無邊處、獨聽潮聲思故人。

今日は船待致し明日咸南に向ふ可く候（九月十三日雄基より）

公告

一、擔桶　五百個
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府內ニ於テ國稅、地方費、府稅、學校組合費年額拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ一年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
右大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ向ハ本府計係ニ就キ仕樣書見本等熟覽ノ上九月二十七日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ即時開札ス
契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當
大正五年九月二十一日　京城府

十月『飛行機號』出づ
新少年義勇團の設立　長岡外史名譽團長閣下
新少年
立太子奉祝　飛行機建設の壯擧
發表　一冊二十錢　送一錢
東京神田錦町　平和出版社　振替東京八七八七

コレラ豫防注射の開始　赤貧に施療
仁川　小倉病院

星印ソース
いづれの御家庭にてもソースは星印を御使用です
全國到る處の洋酒罐詰食料雜貨店にあり
星印は品質及賣行に於てソース界の明星なり
發賣元　大阪市　祭原伊太郎

（夕刊）大正五年九月二十三日（土曜日） 京城日報 第三千二百四十七號 （明治卅九年八月十日第三種郵便物認可）

●兩殿下に法帖を獻上す

長谷川町書畫研究會海岡金圭鎭氏は今回皇太子殿下及び李王世子殿下に楷行草隷篆其他顔眞卿、何紹基、劉石菴、歐陽脩、米芾、金秋史等の各體を以て法帖を謹製獻上すべく數十日來沐浴齋戒して熱誠を込め執筆中なりしが近日出來したるを以て綺麗なる法帖に謹製し王世子に獻上の分は李王職長官閔丙奭氏を經て獻上の手續を了し二十二日東上の金武官之を捧持せり尚皇太子殿下に獻上の分は來る十一月三日立太子式の當日獻上すべく其の手續中なりと

●秋深し、野へ山へ

二日の休日に大に身心を鍛へよ 茸狩、秋草、城壁巡り、栗拾ひ、銃獵

秋が來た足一たび紅塵萬丈の都門を出づれば自然は淸爽透徹なる秋の氣を漲らして郊外に杖を曳く者を待つてゐる二十三日の秋季皇靈祭から翌日の日曜にかゝる二日續きの休日を

■何處に遊ばう とするか虎列拉騷ぎで市中の一部は多少騷いでゐるけれども郊外の自然は一切不關焉を極め込んでゐる、吾等は先づ第一に市民二日の遊歩の場所として京城四門の外へ出る事を勸めよう、淸涼里王陵附近の茸狩、例の楊柳の隧道を走る電車が停る終點から五六間淸涼里駐在所の角を折れて二三丁行くと右側に松山がある、鬱蒼たる松山を分けて入ると年古りたる松の根方に香はしいしめじ初茸などの菌が可愛い頭を擡げてゐる茸狩に飽いたら王妃の墓を尋ねるもよく又其

■附近の草小徑 を左に山つて小川の辿りに出れば高く澄んだ空の色を映してさゝやかな流れが涂々の響を立てゝゐる、又北門を越して洗劍亭附近に往けば秋の七草とりぐに咲き亂れてゐるが中にも野萩の繁り、その間から突き出た穗薄などが最も多く、此のほか名も知れぬ秋草が野道を彩どつてその間を飛び交ふ蟲のかずぐと共に野趣の溢れたるを見る、更に節くれ立つた北漢山を辿つて行けば日歸りで普賢峰邊りまで

■一夜泊りなら ば絶頂まで登る事も出來やう、更に赤漢江、麻浦、纛島邊りへの遠足も面白いだらう、進んで汽車を利用して秋を探ぐるとすれば近い所で永登浦附近の茸狩、一夜泊りの遠出ならば京元線に乘れば茸と温泉で知れた釋王寺、虎列拉に冒されない元山に秋の海の淸澄なるを觀るのも好い、京義線に行けば開城の高麗の古都を尋ね、彩霞洞附近の栗林に栗拾ひの興は茸狩と共に都人士を樂ましむるものがあらう、銃獵に趣味を持つ人は今月の十五日から獵期に入つた平安道に遠征すべきだらう、鐵道

■沿線の好獵地 としては例年の事ながら土城、汗浦、新幕、沙村、黑橋、平壤を擧ねばならぬ、平壤から分岐して鎭南浦に行けば附近には雉、鴨、雁、鳩などが澤山ゐる、平壤から先きへ往けば肅川、雲田、定州、良策、白馬、新義州の各驛附近は京城から平壤までと同じく小丘平地水田が多く雁鴨雉の棲息は非常に多い、南大門驛二十二日の午後九時四十分發の汽車に乘れば平壤から

■先は夜明け頃 午前ならば夜中に着く、但し開城から先き新幕、平壤までは汗浦、新幕、沙里院より停車しないから附近の驛で降りる事が肝要ぞの邊は豫じめ驛に就いて聞き訊して置かねばならぬ、一晩泊りでもいゝが二晩泊りで緩くりゐてくるのもいゝ、驛の附近には不完全ながら宿屋はある、然かして市中の虎列拉はまだ確定したわけでもなく、然かもその區域は一部分であり當局が嚴重に防疫に努めて居れば暴飮

■暴食の不攝生 をせぬ限り敢へて懼くには及ばぬ、秘苑の秋は近頃いよぐ趣を添へて動物園の禽獸は頗る天氣で秋の植物は美しく咲き出した景福宮の博物館には此頃京都の二樂莊から著いた珍奇な佛畫佛像もあり興行物の活動寫眞は兩日共晝間開場をする虎列拉流行の際とは雖も亂暴な飮食をしなければ恐れる事に無い筈である

□大同江畔 ——午後には非常に暑くなるのであらうと想はれる様な日であつた……煙れ日の爲めに川風さへ眠り、洋々たる大同江は小波一つ揺がず、府の様な江面には小蒸汽船や川船や、大川舶の複雜した、起伏した、建築、楊柳の老木が、氣持の良い明るい影を静かに江面に進れ、大同江畔は綺麗な平和に充ちて居る——秋闌の楓の流揚からは、今し、白い詩人の姿に踏つて、赤い大きな牛が乘つて居る龍槽が、向ふ岸の龍柏里のポプラの杜へ方ね、穏されて往く、何處からとも知れず詩人の細い静かな江面を波はして流れて來る……日盛りの大川邊は賑へり乙女等が多く來るて。

●長白山の奥で山神祭

山人蔘取りの群の奇怪なる風習

今日此頃長白山の奥には山人蔘取りが今年の最後の活動をして居ります彼等が山に入る時は一團となつて一つの奇妙な莊嚴の儀式をして出かけるのであります之れは是非共本年は澤山の人蔘を發見さして下さる樣にと山の神(城隍神)に祈願をするのでありますまづ一人の採取團長が指揮の下に山林近き古木の濶葉樹の緣蔭に式場を設けて古木には七五三繩又は白布色布の斷片などを結び付けて裝飾とし木の根元近くに豚肉、牛肉、魚肉、鷄肉、酒、白米等を美々しく配列奉献して團長は採取者に齋戒沐浴を命ずるのでありますやがて式場に正列さして團長の發言の許に一齊に中腰となり合掌して祈禱を初めるのであります其の文句は日本語で云ふと「ドゥヅ山の神様誠に粗末の豚肉や牛肉其他を皆な遠慮なく御食りなさい」と云ふ意味を續けて云ふた後で何卒一同の者に本年は必ず澤山の人蔘が採れる樣にと何百度となしに頭を地上に摺り付けて異樣な句調で祈願するのであります年然其の時は普通鮮語でなく

▽山人蔘用語△ と云ふ一風變つた語で祈願するのであります是れは入山後も必ず此の一種異つた語を用ひる事になつてゐるので若し誤つて普通語が出たら其の年は決して發見せんと云ふのであるから非常に愼しんで居るのであります、二時間程も經過と思ふ頃に本年は豊年だ〱〱と云ふ聲を祭の見物人が所々から叫びますと初めて此の式が終るのでありますそして彼等は此の場合は酒などは決して飮まず森林に向つて出發するのであります

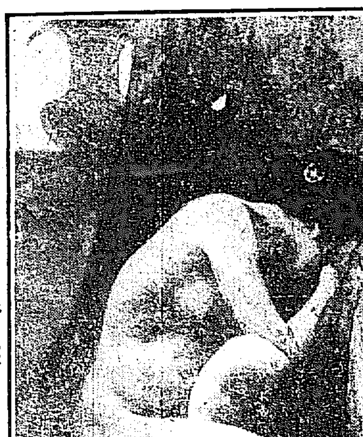
▽採取の方法△ 愈々林中に進入れば十間程の距離を隔てゝ一列横隊になつて山から山に谷を尋ね峰を尋ね精進料理の許に幾日間も山中生活をして若し一度び人蔘を發見したら直に大聲をあげて見つかつたと皆の者によく聽ゆる樣に云ふて其の發見人蔘を中心として直に約十間四方內には必ず他の者の入る事の出來ない樣に一つの權利區域を定め其區域內に尚ほ人蔘はないかと尋ね廻り其のあとで其の人蔘を發見した處で入山前と同樣の叮嚀な儀式をして且つ御禮をのべて明年も本年に倍し汝の父、汝の母、汝の子、汝の兄弟を皆な此處で待つて居て下されと云ふて厚く其の場に禮を云ひながら附近の立木に印をして去るのです

▽山人蔘の價格△ 産地附近の價格は小指大のもので一本が十五圓乃至二十圓親指大のものが卅圓乃至五十圓の標準であると土地の人民は云ふて居るから段々と目方が増せば大變な價格であります一寸したものでも昨年の共進會に出品したものから標準して見ますと産地の價の二倍三倍となる樣であります昨年當廳が出品したものは産地で三四十圓近くに買入れたさうですが何でも百圓近くに買手が付た樣に記憶して居ます販路は不足勝の物でありますから何人でも競爭して買手が付く樣であります殘念な事には毎年七八月の候になると江界や厚昌邊へ支那人が渡つて來て安く價を付けて持つて行てしまうので御座いますそれで支那人の手に一度買入れたものは支那本國目

●野球聯合大會

於龍山鐵道運動場

二十三日より二十四日にかけ京龍の野球チームは聯合の上龍山鐵道公園にて野球大會を擧行すと云ふ參加チームは京城倶樂部、遞信倶樂部、鮮銀倶樂部、五星倶樂部、倭城倶樂部及び鐵道倶樂部にして京城、遞信、倭城は昨今大いに練習を重ね攻守共に見るべきもの多く五星又新進の若手を加へその勢當るべからず鐵道亦獨得の守備と攻撃を以て之れに備へんと云ふ京城に於ては昨春公論社主催の野球大會後久しく聯合の仕合を見ざりしことなれば當日は定めし盛況を呈するなるべく尚詳細に渉る仕合規則は本日決定さるゝことなれば明朝改めて報道するところあるべし



秋の文展（二）夕方——中村不折畫

●仁川六十五名

仁川に於ける虎列拉患者は二十一日正午十二時迄に疑似眞正を合せて六十五名に達したるが二十二日午前八時迄に新患者八名を出せり二十一日の發病者左の如し

[illegible]

◆蚤取粉で蠅退治

蠅が惡疫を傳播する事は何人も知つて居るが其の蠅を驅除する事は頗る以て厄介千萬で殊に今日の仁川の樣に虎疫の流行する際は努めて驅除せねばならぬが何うしても好い方法のないのには何人も苦んで居る處であらう某衞生家の多年の實驗に因ると極容易な方法がある其は蠅の居る座敷の障子を締切り片手に蚤取粉の罐か何かを差し上げ片手に團扇を持つて靜に手早く蠅をおもてに除ける例へば六疊の座敷ならば凡そ五分位置けば其內にある蠅は悉く斃死する[illegible]

●電車破壞の主謀者三十二名

悉く其筋の手に捕縛せらる

去る十三日午後九時頃釜山鎭に於て朝鮮瓦電會社の南行電車が鮮人を轢殺したる際附近の鮮人一時に集合し電車を破壞し大騷擾を演出したる事件の主謀者三十二名は悉く二十一日迄に其筋の手に捕縛され取調べ續行中(釜山特電)

秋の文展（三）龍神——新海竹太郎刻

●市內醫師の豫防注射開始

京城醫師會にては虎疫豫防に付き打合會を開きたる結果二十二日より市內各開業醫に於て防疫注射を開始せるが注射は二週間二度にて完了の由なり

●電車の消毒

車掌運轉手豫防注射

京城電氣會社にては虎疫蔓延の兆あるを以て會社の社員以下各使用人全部六百名をして豫防注射を受けしむることゝなり先づ多數の市民と日夕接觸する車掌及び運轉手二百五十名のため二十二日午後二時より三時迄龍山鐵道病院に於て豫防注射を受けしめたるが尙ほ運轉車輛に對しても同日より各線の終點に於て車內の要所々々をアイゼル消毒を行ふことゝなりたり

コレラ彙報

▲江華島 虎列拉は遂に仁川の對岸なる江華島を襲撃するに至れり二十日午後十時半江華警察署長より警務部へ達したる電話に依れば江華郡佃源面冷井里渋元三 婁李氏(二七)は十九日夜仁川より歸郷の途中俄かに吐瀉を始めたるより江華署より係員出張檢診の結果疑似と決定せり

▲漁船から疑似 鎭海行慶尙南道[illegible]吳氏(二八)は慶尙北道の歸漁船に雇はれ十[illegible]四日より釜島西方にて漁撈に從事中十八日午後八時過ぎより烈しき吐瀉を爲したるより[illegible]檢診の結果疑似虎列拉と判明し[illegible]漁船あり何も[illegible]に停船せしめたり(釜山特電)

▲元山列車檢疫 仁川其他各地にて虎疫流行するに伴ひ元山警察署に於ては汽車便に係る往復客に對し檢疫を嚴重に行ふ事に決し既に兩三日前より午後四時四十五分元山着列車には安邊驛より巡査を乘り込ませ危險地を出發したるもの及び通過したるものに就き十分なる注意を拂ひつゝあり

▲方魚津に發生 方魚津、山本太郎外二名の小兒は二十一日疑似虎列拉に罹れり(釜山特電)

書畫入札

南山町三 佐々木泰玄堂 電三三一
▲廿三日下見廿四日正午より開札

市民衛生會議

▲疑似虎列拉のあつた町內の人が無暗に他の町へ移轉して來るのは迷惑であるから止めて欲しいものです(衛隣生)▲旭町一丁目の精養軒へ上る道から折れて加町二丁目の水越さんの横に出る小路の官舍の板塀に汚物が溜つてゐるのを廿日に發見しました尚は居ないでせうか(恐ろしい生)▲或る官舍では通用門を締切つて魚屋野菜屋の出入を防いでゐる是けは神經過敏では無からうか、さうビク〱してれば惻隠の神經が衰んで却て病氣に乘ぜられ易いものだ宜しく膽は大にして衛生方法に對しては細心の注意を拂ふ可した魚菜等は自ら殺菌方と調理法がある筈だ(神經遲鈍家)▲朝鮮人の便所の不完全は實に甚しいどうか便所の改築を完全にさせてもらひたい附近の者が大迷惑だ又時節柄共同便所を閉鎖されんことを願ひます(神經過敏生)▲飮食物は煮沸して戴けば宜しいが食器や布巾や又手の先きなどは如何なる方法で消毒したらよろしいか敎へて下さいそれから[illegible]に水に一滴落したら生水を飮んでも好いですか(衛生狂)▲黄金町三丁目附近は便所の少い西側を流るゝ青葉川に川の上に便所を吊り出して居る鮮人家屋が二軒あります此頃の不順な天候に汚物が溜まつて川の中へたら〱とこぼして居るから金蠅、銀蠅、牛蠅等が丁度胡麻を振りかけた樣に集まつて居る一寸見ても直ぐに虎疫が飛び出る樣である(豫防生)

●池上醫院の豫防注射 櫻井町一丁目池上醫院にては二十二日午後四時より毎日一般希望者に對し總督府醫院同樣三回六十錢の割合にて虎列拉の豫防注射を爲す由

讀者文藝（一等には五十錢の書籍切手を呈す）

▽物はづけ『六ケ敷物は』

○盲人の駆足（一等） 龍山元町二 こまや方 岡本小葉子
▲試驗の問題 龍岩浦 大石 劍牛
▲奉公人の使いかた 鎭南浦 井上 拜水
▲高利貸の御面相 京城 新人
▲飛行機墜落豫防法 福浜 〇〇生
▲老嬢の理想の人 仁川 一起生
◎課題及び發表日定は欄外にあり

●釜山停留者 十八日午後査

鮫丸停留者 [illegible] み、高田煙蔵、同ふみ、仁近德九一の十五名(三等)並本願晨會觀察團一行二十七名、外七十三名以下略す

●十九日午後對馬丸停留者 善次郎、桑野彌四郎、行竹佐一、大島元藏、渋忠次郎、成村茂謙、同れん、小立登助、村岡音三郎、中村常太郎、西村久六、渡邊守、河村やす、同きし、同ふじ、[illegible]謎、堀江東之助、恕部友枝、新居勘三郎、林逸、林助、同福溪、同初歩、同すて、森谷義二郎、宮田村三[illegible]、高島ひん、同貞子、多賀茂平、[illegible]四十八名

●警戒（九月廿二日午後九時發）[illegible]

■課題 讀者文藝課題及募集規程

■募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更よ[illegible]

天氣 くもり 曇り後晴れ ▲九月廿三日 [illegible]

都山流 尺八 音譜
●今小町 廿五錢
●青柳 三十錢
●秋の曲 廿五錢
●音譜解說 三十錢
大阪 前川 町 三丁目 合名會社

內科 小兒科 村上病院
京城永樂町一丁目（品商陳列館前） 電話六二三番
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 熊本醫學士 松下三雄

各物新荷着
トビつく様なイイ柄が澤山まいりました
京城 一九呉服店

惡疫の流行と下痢止腸胃藥の撰定
▲腸胃の健全なる人が惡疫に傳染せざるは學理の許する所なり
▲故に此際何人も腸胃の健全を主効とするヘルプを服用せよ
▲ヘルプは腸胃病の専門藥にして彼の時流に媚ぶ一時的賣藥の主義の藥に非ず、此故に從來より專ら智識階級に歡迎せらる

下痢の原因
が多く不消化と黴菌作用に起因するを知らば藥劑の撰定に充分なる注意を要す
●然るに從來の賣藥は單純の收斂劑にて消化と殺菌の用意ある物なし
●柏村博士のヘルプは此缺點を考慮配劑せし他に類なき殺菌性下痢止腸胃藥なれば一般下痢に應用して奏効迅速且安全也
是れヘルプの高評を得し所以

樂しい秋の運動會

△都合で廢むかもしれぬ

◇樂しい秋が訪れると共に各學校の運動會季節となりました、過般學校の申合せによれば十月一日は西大門小學校、四日は日出と元町七日は櫻井、十四日南大門、十五日鍾路と龍山の豫定となつて居りましたが都合によればコレラ騒ぎで廢止になるかも知れませぬ

◇何分うれしい運動會のことでありますから學校ではなるべく催したい希望ですが十月廿日から月末になると氣候が寒くなるので困ります、競技運動の如きもなるべく教育的に兒童のためになるものを撰むでやりたいとのはなしです

●公州愛婦茶話會 愛國婦人會公州支部にては朝鮮本部大橋主幹の訪問を期とし二十一日午後二時より道廳食堂に茶話會を開き小原支部長花田、澁谷、秋田、谷、小松の各役員出席したり

●久保僧正滿鮮視察 紀州高野山本部布教課長久保僧正は管長の特命に依り滿鮮視察の途にありしが來る二十二日午前十一時に入京し新町高野山出張所に於て二十二、二十三兩日一般のため説教あり因みに同僧正は新町遊廓の女郎衆に於ても一般信者の參詣を欲むべしと

●支那小學校生參拜 京城支那領事館内に設けられたる兩等小學校生徒一同は廿三日午前中光熙門内吳公祠に參拜する由

●仁川招魂祭 二十日午前十時より仁川神社にて行はれたる秋季招魂祭は神官の修祓に初まり祭主の祝詞、玉串奉奠に至るまで敬虔に執行はれ十一時半終了したるが參列者多數なりき

お休日記

△西瓜をたべながら　鍾路小學校尋六　上田義雄

○八月三十日（晴）五時半起床）よりついで雨が名殘なく霽れて、東の空に美しい日が輝いた。僕はすぐ飛び起き水道へいつて、冷水摩擦と深呼吸をした。其の内に藤井君が來たから一緒に山へ行く。山の上から京城市街を一目に見てゐると是前の方に鐘が鳴る。ぼつたが館に入れて居ると十一時が鳴つた。お母さんは僕が好な薯汁を、たいて下さつた。午後は東京の友達からうれしい手紙が來た。家内中で西瓜を食べながら東京の話に花が咲いた。夕方ふろに入り松蟲鈴蟲の聲を聞いて居たら、そゞろに、秋近くなつたのを感じた。

鍾路小學校高一　鈴木尚子

○八月十七日（木）月影おぼろなる静かな夜でありました。私は何心なく庭へ下り立つて見ますと庭前には日まわりや松葉ぼたんや、撫子などの花が、色美しく咲き亂れ、コスモスの花も丈高く茂つて居ります、秋は花園の方へと歩きます。ふと何處からとなくパツ／＼と音がする方へと耳をかたむけますれば、それは裏庭の月見草の花が一枚づゝほぐれる音でありました。

△何分花をよろしく　鍾路小學校尋五　萩原しげ

○七月三十一日（月）七時半起床）朝起て見ると、うるさぼちの花がきれいに／＼咲いて居ました。私の植えた朝顏も九つ咲きそろひました。おさらひをして居ましたら、誰がころ／＼とやかましく鳴りました。きつと雨が降るだらう

△お經の聲を聞いて　鍾路小學校尋六　金澤よし子

○八月五日（金）起床五時、臥床九時）今日はお祖父さんとお祖母さんとの、二十五回忌にあたるので、家は朝からさわがしかつた。朝からお經をとなへてゐらつしやるお母さんの聲を聞くとなんとなく心さびしい。午前十時頃淨土宗のお坊さんがいらつしやつた。お經をお讀になる後から、うちわを持つてあほいでゐると、私も佛様になれさうに思はれる。

△赤ちゃんの泣き聲　鍾路小學校尋六　下村美代

○八月一日（火）晴 今日は朝顏の花が幾つ咲いたかと、縁に出て見たら、トン／＼と門をたたく者があつた。開けて見ると向ふの叔父さんと叔母さんとが、立つていらつした。只今藤原さんの叔母さんが御産氣付いたから、産婆さんの所へ電話をかけてくれとの事。何だか胸が、ドキ／＼し出した。午後になつても、まだ赤ちやんがお生れにならない。氣が氣でなく、用もないのに行きつ、戻りつした。晩方七時頃、突然オギヤーといふ聲。それ生れたと叔父さんがおつしやつた。赤ちやんの泣き聲がついて聞ゐる。

△宮田さんが來ました　鍾路小學校尋五　永山義孝

○九月十七日（日）晴

神社とお寺と教會

○國柱會京城局（初音町）二十三日午後八時より布教所にて秋季皇靈祭の祝賀式を執行し後伊東講師の講話あり

○本能寺（永樂町）二十三日午後一時より内地人部の一般信者の爲め說教あり

○開教院（本町三）二十三日午後二時、同七日より弘安師の講話あり

○妙心寺（長沙洞）二十三日午前十時より彼岸大施餓鬼法要あり猶ほ二十四日午前九時より開祖忌の提唱あり

○京城神社（倭城臺）二十三日午前九時より秋季皇靈祭執行

○西本願寺（若草町）廿二日午後八時より彼岸の法會あり松原師の說教あり廿三日は午前八時より同一時より松原師の說教あり

○曹谿寺（大和町三）廿三日午後一時より彼岸中日の大施餓鬼に說教あり

○龍山金光教會 廿二日午後八時より月次祭廿三日午後二時より秋季皇靈祭

○メソヂスト教會（旭町二）廿三日午後三時より教會堂新築式を執行す

○御成院（旭町）廿四日午後七時より眞宗大學講師久保顯雅師の說教あり

―△會のいろ／＼▽―

□佛教講演會 久保顯雅師今回滿鮮巡回中なるが二十日夜龍山鐵道俱樂部に於て約三時間に亘る講演あり多大の感動を與へられたるが京城にては成身院及び千代寺の主催にて來る二十四日午後一時より明治町浪花館に於て講演あり一般の來聽を歡迎す

□橘同窓會 長崎高等女學校卒業生を以て組織せる京城橘會支會にては二十五日午前十時より本町湯淺樓に於て同窓會開催猶ほ同校教諭たりし中山てい子女史も出席の筈なれば一般同窓生の出席を希望する由

□香川縣人家族運動會 廿三日午後六時より館にて開會井上雅宗の送別大會あり

□筑前琵琶大會 橘宗家四天王の一人と稱せられたる江頭旭米君の歡迎琵琶大會は廿四日午後六時より演劇にて開催、旭宗、旭心、旭涓等の出演ある筈

□英語俱樂部 廿三日午後八時より市大門通基督教青年會にて開會

茶の番　あのこと

頃日奬忠壇から南山にかけて松茸採りや初茸採りが盛んでゐる△初茸は淸凉里あたりから獨立門外を初め郊外の野山には至る處に見出される△彼岸の中日や日曜の打ちつゞく昨今郊外の秋を探ぐるも面白きことであらう

あちらこちらのもの（五）坂出技師の洋行お土産談

◇お茶の會 あちらに居る間、私は度々お茶の會に招待されました◇今日はお茶をあげますから、午後四時頃來てくれと、三時頃來てくれとの御案内に、私はよろこんで、出掛けて見ました◇するとあちらの御茶は極きな樂にするやうに思はれると申すのは、鳥渡月末の日の御茶の家を訪問しても、お茶やお菓子の出るのは當然のことゝなつて居ます、況んやわれ／＼御案内した時に於ては、充分な饗應を致すのが普通となつて居ります◇然るに、あちらのお茶は、ほんとうのお茶ばかりで、紅茶か、コーヒーが一つ出たら、それきりあとは何も出ませんでした

◇これで果してお茶らだらうかと思つて見ましたが、矢張りほんたうにお茶でした◇併し私の悦しかつたとは、其度に集つた人が皆主人の知己ばかりであつて、中には實業家もあれば、官吏もあり、學者もあるといふ風で、招かれた人自身も亦新らしい友達になつたり、久しぶりに會つたりすることが出來るといふ有樣◇時間は僅かに三四十分間のものであるけれども、各自が談笑の間に潤によい機會を得るとか能きるのであります◇あちらのお茶は別に口腹を充すの御馳走ではありませぬが、極めて簡單なる會合であつて且つ主人の厚意によるお茶のとり合せがありがたいと思ひました◇これから世の中がだん／＼忙がしくなりますと、日本などにも應用が必要となつて參りませう（女子高等普通學校にて）

商況

東京株式特電

十九日　前場寄付　大引

日本郵船		
東京株式		
鐘紡		

東京公債直取引

深川在米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

●內地糖界の觀測 糖界は場面眞引締り大阪市場は五錢乃至十錢方の入荷見る所あり……[illegible]

●關東製粉閑散 用を以て一段落とし手筋の捌きかると共に商談の衰へて小麥粉市場の更に下落するかと想像せらるゝ所なれど市場の如何に下落りて本限の三十五錢と變化なく安値には賣手の念懸ありて是れ全く原料關係に因るものにして……[illegible]

●産地澱粉持合ひ されば會社側にても原料も大勢に持し居る有樣なれば……[illegible]

●鐵板更に強し ……[illegible]

●消毒藥活況 ……[illegible]

向ふ漸く多 各戶豫防消毒を行ふ ……[illegible]

十三枚物更に一圓方昂騰せり

●燐寸は強含み 三十五圓見當 ……[illegible]

更に多數の引締

●染料は強健 徐々氣直り模樣 ……[illegible]

●生果類漸落 ……[illegible]

下關相場

▲朝鮮白米は不捌 ……[illegible]

各地商況

○木浦（二十日の穀物）……[illegible]

京城正米

南大門の廻穀

釜山市場 廿一日

生魚市場

仁川期米　二十二日前場

市場零聞

▲前場は不勢 ……[illegible]

仁川米豆取引所　廿二日の十二月限

北濱だより

▲買過ぎの反動 ……[illegible]

▲眼先果して如何 ……[illegible]

小賣白米

白米標準値

十五圓六十錢

演藝案內

有樂館　本町一丁目　電話二六六
日本活動寫眞株式會社特約……[illegible]

黃金館　電話一八五二（階上）二六三七（階下）……[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三
九月十七日より……[illegible]

御成座　御成町　電話一九一……[illegible]

浪花館　明治町　電話二六〇
大阪女義太夫一座竹本林之助一行……[illegible]

曾我商店　大阪堂島米穀取引所仲買人
米　青木古物店　鍾路巴町　何でもある品價注文を乞ふ

かつけに尾崎糠精　村井弦齋先生命名實驗證明　販賣元　東京中澁谷町　尾崎兄弟商會　全國藥店に有

鑛山營業　各種鑛石買入　重石買入　▲鑛物定量分析▲鑛山測量製圖　京城鍾路二丁目九九番地　金石商會　電話一八九九番

讀って取る程喜ばれる　國譽たび　大阪東平野町五　國譽たび本店

釜山著名商店　▲高等雜貨洋酒食料品　サクラビールとダイヤ燒酎特約店　福榮商會　釜山辨天町一丁目　電話一一三番、三二九番

食料品雜貨　乾物　砂糖　麥粉　烟草　罐詰
洋酒罐詰　銘茶　糖粉　石油　烟草　荷札　卸問屋
ビワコ　釜山辨天町　長電七〇五　振替京城一六五〇番
（月刊物價表發行）

月刊商報發行送呈
釜山本町三　近藤商店　電七六八　振三五八
日鮮雜貨　鍋釜金物　卸問屋
板硝子輸出入商　◎鮮人向洋反物入荷仕候
釜山Ⓜ本町　村上元治郎

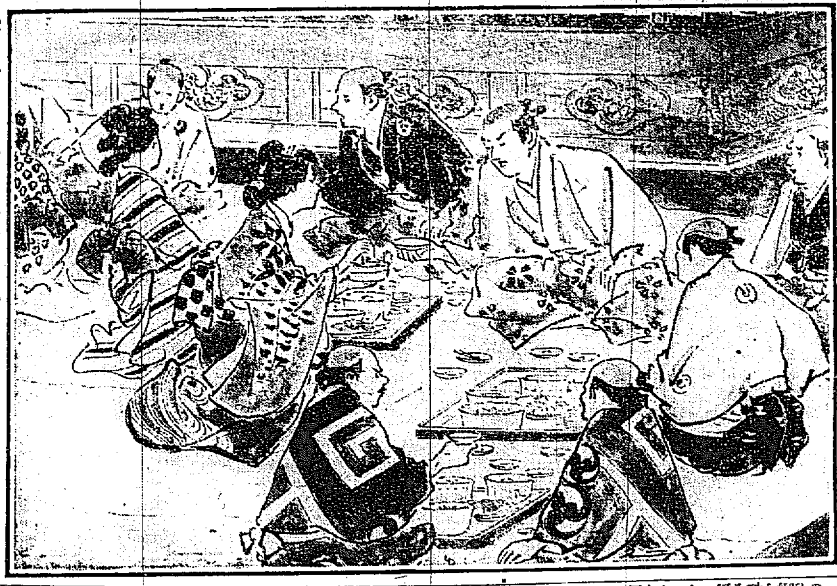
內外雜貨卸問屋　近江屋支店　釜山本町二丁目　電話八〇二番
◎青竹船入　釜山港　島末材木店　一番確實

宮本武藏

第百六十七回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

さて明ければ十二月一日一橋如見齋は長束傳八郎を伴れまして、門人五十餘人何れも今日を晴れと綺羅を飾り、威榮こんで吉原へ乗込んで來た、豫て通知をしてある浪人組、井上權左衛門、寺西彌惣右衛門、鳥居新左衛門などを、首頭として百五十餘人稻妻組の町奴百七八十人總數三百七十餘人、仲の町へ繰込んで參りました、何れも此頃の風俗で華美なことは眼を驚かすばかり、往來の見物雲霞の如くであります、尾張屋治十郎の店へは如見齋が控へ、長束傳八郎を初め井上、寺西、鳥居などゝいふ面々が居並んで居る、中の町の兩側揚屋々々を打通して、店前に花毛氈を敷連らね、三百何十人といふ連中がズラリと並んで盃を廻らす、實に大した賑ひ、最初は遊女禿が出て酒の酌もするがイザとなつたら一人殘らず揚屋へ逃込むやうに言付けてある、今に時ならぬ嵐が吹いて落花狼藉血の雨が、降らうとは神ならぬ一橋如見齋、樂し氣に盃を擧げて『如サア目出度い出陣の首途、祝儀に一つ所望いたす』鳥居新左衛門が『新イヤ長束氏の出陣を祝ふため拙者が一つ謡をいたさう』如『鳥居氏の謡は豫て評判であるが拙者伺つた事がない、是非一つ所望いたす』新『心得てござる』と聲張上げた新左衛門が『新其名も高き富士の嶺の、其名も高き富士の嶺の御狩に卒や出でやうよ』これは曾我の十郎祐成にて候、さても我君東八箇國の諸侍を集め、富士の牧狩をさせられ候、間、我等兄弟も人並に罷出で、唯今富士の裾野へと急ぎ候、今日出でゝいつ還るべき故郷と、思へば猶もいとしく、名殘を殘す我宿の、名殘を殘す我宿の垣根の雪は卯の花の咲き散る花の名殘ぞと我足柄や遠かりし、富士の裾野へ著きにけり』富士の裾野へ著きにけり……』と夜討曾我の謡を謡ひ初めた、長束傳八郎心中にアヽ厭な謡を謡ひ初めた、敵を持身であるから曾我の謡は禁物止て呉れゝば宜がと思て苦切て居る、新左衛門其とは知らんから自慢で一曲謡ひ了ると一同喝采と聲を擧げて賞める、次に寺西彌惣右衛門が『彌『今度は拙者が何か目出度いものをやらう』望月などは敵討物で目出度くて宜い』長束傳八郎驚いた、恁う敵討をやられては堪らない腦に瑕持つ身で何となく氣に懸りますから 傳『ア、暫時お待ち下さい、今度は拙者が一つ謡ひませう、羅生門などは目出度くて宜しいから』一指舞つてお肴にいたさう』一同が『長束氏の舞は初めて、是非拜見いたしたい 傳『イヤ甚だ未熟ではござるが時の興で、御慰さみになれば滿足、と立上つた傳八郎 傳『治まる花の都とて、治まる花の都とて、風も音せぬ春べかな『これは源の頼光とは我事なり、さても丹州大江山の鬼神を從へしより以來、貞光季武綱金時、此人々と朝暮參會申し候、殊更此程は晴れまも見へぬ村雨にて候ほどに酒をすゝめばやと存じ候』『ありがたや四海の安危は掌の中に照し、百王の理亂は心の内に懸けたり、曇りなき君の御蔭は久堅の空ぞ長閑き春雨の、音も靜に都路の、七ツの道も末直に、八洲の波も音せぬ、九重の春ぞ久しき、九重の春ぞ久しき 頼『いかに面々、さしたる興も候はねども此春雨の昨日今日晴れ間も見ぬ徒々に今日も暮れぬと告渡る、鐘も淋しき入相の鐘『つく／＼と春の眺の淋しきは、春の眺の淋しきは忍に傳ふ軒の玉水音凄じく獨眺むる夕まぐれ、伴なひ語らふ諸人に御酒をすゝめて盃を、取々なれや梓弓、矢猛心の一つなる、兵の交り頼みある中の酒宴かな、思ふ心の底千なく、唯打解て徒然、降暮らしたる宵の雨これぞ雨夜の物語『品々言葉の花も咲き『匂ひも深き紅に、面も愛でゝ人心、隔てぬ中の戯れは、面白や諸共に、近く居寄りて語らん』と聲張上げて傳八郎が羅生門の一曲を謡ひながら指手引手鮮ざやかに舞初めた座中一同興に入つて見て居ります



外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

新譜 九月號 第二回著荷

京城本町 日本蓄音器商會

盛花家元 京城明治町本通 宗匠 春道齋
當分遠方の出教授は申込を斷ます

九月廿四日九星
舊八月廿七日甲子
本命六白乾平佛滅

▲六白 秋の氣に煩悶する事有る日注意 新事見合南方は吉晴乾乾▲七赤 拔目なき日轉居旅行求職上命件出漁新規定開業等萬吉▲八白 情館の觸き日萬進で利有 待人好報を齎て來る▲九紫 缺點を生ぜんとす注意新事手控 萬事は吉一切の掛引を禁ず▲一白 程よき日轉居行商入學名弘求職金件婚姻水利業等萬吉▲二黒 大利の日轉居旅行入門名弘普請求職振組大なる金融等萬吉▲三碧 理窟にあはぬ斷有る日新事手控萬事は吉 爭を謹まるべし▲四綠 平運の日物の準備を役は吉新事手控萬事衒事は妨なし▲五黄 積健の日轉居開業等皆吉 女子の思はぬ良縁を得る大有卦の日也

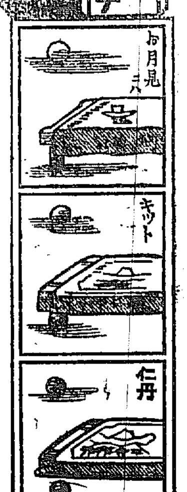
なまづ入墨 アザほくろイボ 等の惱め困難の人はハガキにて照會あれ効力實に偉大なる他に類なき良劑を與切に詳報す
東京市本郷區元町 平澤藥院製藥部

鹽 各種食鹽販賣 穀物委託販賣
龍山 製鹽所 龍山元町四丁目 電話龍四〇七番

山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八〇番
內科 小兒科 花柳病科 眼科
呼吸器病專門 胃腸病 山田萬作
(入院隨時) 尾形周太郎

介石先生易斷支部開設
謹て新聞及雜誌に內政外交問題の易斷を發表し近くは京城日報紙上に郵家庄事件の結果を豫言し非常に易者たる天職に忠實なるを以て有名なる易占界の新智識岡村介石先生今般龍山有志の希望に依り弊館に其支部を設置し一般の求斷に應ぜらるゝこと相成候に付此段謹告仕候也
新龍山郵便局前 內田旅館 主敬白 電話三〇七番
京城明治町フランス教會隣 岡村介石易斷本部

消化と毒けし 仁丹

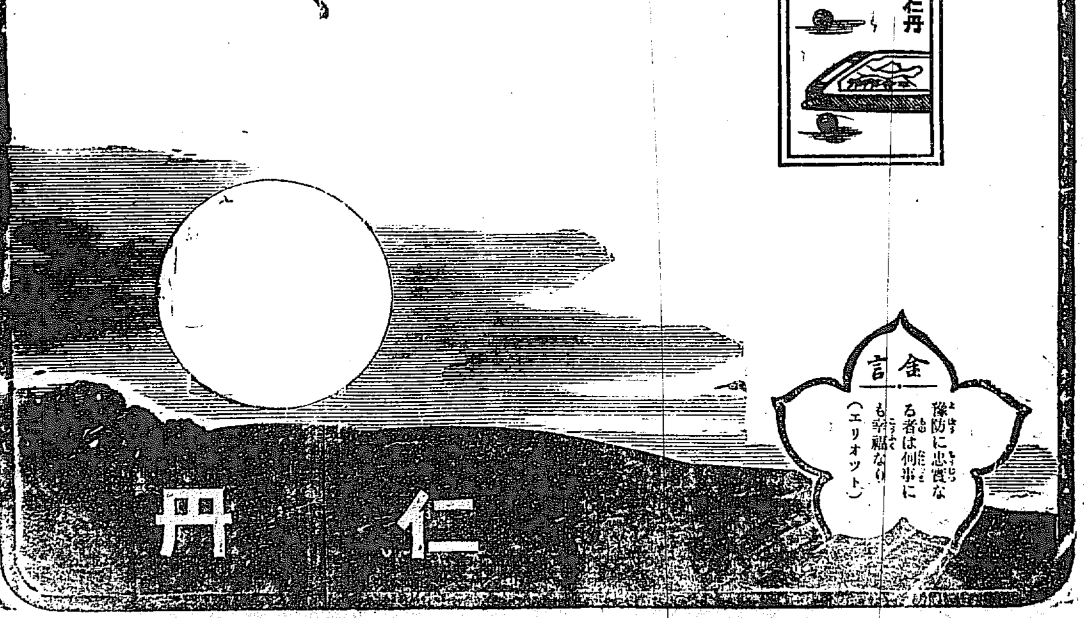


今のむ仁丹値打千両
殺菌力頗る強大の仁丹で猛烈なコレラを未然に防ぐ

仁丹の特長
両博士御方劑の仁丹は藥味の精選を生命とし胃腸を絶對に强健ならしむ

仁丹主効
▲惡疫豫防 ▲嘔吐下痢
▲時候傷り ▲寢冷ね
▲胸腹痛み ▲頭痛目眩
▲舟車の暈 ▲酒質毒消

金言
豫防に忠實なる者は何事にも幸福なり(エリオット)



新しい美容液

ホンノリと色白くなる……(隱化粧に天下一品)……
レートフード
實驗……(お顔剃つたらレートフード剃刀まけせず氣持をよくす)……
ヒリ／＼するお顔剃後にレートフードが一番よい
素顔を生々と美くしくす
東京 平尾贊平

京城日報 第三版

廿三日朝刊(夕刊と合せて八頁)

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

吾人の覺悟

京城日報

餘りに恐怖する勿れ、神經過敏に陷る勿れ、虎疫の侵入は恐るべきも沈着に且つ正直に、之が豫防に努めんか、豈敢て恐るゝに足らんや。恐怖もとより可なるも、物事には一定の度ある事を忘るべからず、度を越ゆれば、時に思はぬ災禍を惹起する事世上稀ならざるを見る、洵に愼むべき也。世間には時として、衒氣を以て、我勇を示し、膽を著すものと誤解し、調子脱れの振舞を爲し、行ふべからざるを行ひ、爲すべからざるを敢てし、世人の瞠駭目するを見て自ら得々然たるものあり。之等の輩が、平生に於ても、世道人心を害ふこと大なる、心ある者の、竊に慨嘆する所なるが、今日此の際に於て、此の輩の現出を見ずとも、限られざるべく、斯る輩は、洵に社會を毒するものにして、防疫と云はんよりも、寧ろ病菌の誘引者なりと云はざるべからざる也。其の非常識の甚しき、恐るべきは衒氣者なる哉。吾人更に一歩を進めて、正直たれと云はんとす、言餘りに平凡なるが如く聞ゆるも、豫防の最も有力なる効力は、正直にあり。之を行ふべし、是を爲すべしてふ、豫防衛生の施設に對して、最も正直に之に從へば、千言萬言よりも有効なる事は、爭ふべからざる也。隣家或は家内に於て、吐瀉患者等の發生あらんか、直に正直に之を申告せざるべからず。申告と云へば、或は他の罪惡を發くかの如き感あらんも、其は大なる心得違にして、寧ろ罪惡を發くよりも人を救ひ、社會を救ふべき、最も好き手段なる事を考へざるべからざる也。何となれば、虎疫の如きは其の發生に際し、直に相當の手段を施せば、患者を救助し、病毒の蔓延を防ぐは勿論其の及ぼす處の効果の甚大なるは、言を俟たず。されば申告は罪惡よりも、此際に於ける、最も適宜なる行動にして防疫上の必要事たると共に、吾人は進んで之を行ひ、是を奬勵する急務なるは、何人も首肯するに躊躇せざるべし。大凡そ吾人の防疫は個人を基礎とし、而して彼我共に相提携し、以て其の完全を見るに至るべく、即ち先づ自家の保健に注意し然る後一般に及ぶべき也。當局者の防疫、亦個人を以て基礎となすべしと雖も、其の範圍頗る廣汎に亘るが故に、個人には其の指導方針を示せり、個人は個人に於て、之を嚴守し、保健の道を講じ、茲に初めて上下一致、其の目的を遂するに至るべし。豫防注射の如き、個人の進んで爲すべきは、洵に當面の急務なりと思考す。吾人は最後に於て、此際最も愼むべきは、輕擧盲動にある事を斷言して憚らず。隣保或は患者を出すの時あらんも、沈着にして、宜敷事を處せば、虎疫亦敢て恐るゝに足らざる也。沈着にして保健たれ、之れ此の際に於ける至言なりと謂ふべし。

鐵自給策と製鐵所經營(一)

經濟研究會に於ける 押川製鐵所長官口述

押川製鐵所長官は支那視察の途次京城に數泊せるを機とし經濟研究會は官民有志と倶に同氏を二十一日夜朝鮮ホテルに歡迎し特に長官に一場の講話を求め之を聽くを得たり、茲に記載するは其筆記なり

私は今回支那に赴く途中、鎭南浦附近の製鐵所に關係ある鐵山を視察する爲めに、御當地を通過するところであるが、計らず今晩は非常に御歡待を蒙り誠に恐縮に堪へませぬ、深く感謝致します。且つ私に何か話をせよとのことであるが、甚だ口無調法であり、又別に諸君の御參考になることを申上げることも出來まいと思ふが、折角の御話であるから、不束乍ら御話を致した譯である。

そこで、只今私の職務は製鐵のことであるから鐵に關し一通り御話したい、併し私は元來鐵に關し何等學識を有しない、只だ今日製鐵の當局に過ぎないので、鐵の技術等に就ては甚だ迂濶であるから、其の點は御含を願ひたい。

明治初年來の製鐵計畫

鋼鐵は軍事上並に經濟上最も重大なるは彼此理窟を申上げんでも、今日の歐洲戰亂に於て諸君が能く御承知のことであらう、我が日本に於ても鋼鐵に就ては明治初年來政府に於て相當施設せられたことがある。現今田中長兵衞氏の所有に歸し居る岩手縣釜石の製鐵所は、明治十年以前に當時の工部省が手を著けて製鐵事業を起したのである。當時英國人を多數—十四名と記憶す—傭入て事業が始められたが、當時の時勢に少しく適合しなかつたか、遂に政府は其の事業を廢止し之を民間に拂下ぐることになつた。雖然其時は製鐵所として之を拂下げたのでなく、全く製鐵事業を廢止し、從て機械或は其他の物品等も諸處方々に拂下げられ、決して田中長兵衞君が事業其儘を引受けられたものでは無いやうである。聞く所に據れば其の機械は淺野總一郎君が拂下を受けてセメント事業に使ひ、田中長兵衞君は僅かに殘りの貯蓄しあつた木炭の拂下げを受け、其の始末に困じ、遂に已を得ず其の捌所に殘りありし溶鑛爐を用ゐ製鐵を試みたと云ふことである。其の以後政府としては製鐵に關し何等着手する所なく、唯釜石の田中長兵衞君が銑鐵の製造だけをやつて居たに過ぎぬ。銑鐵は御承知の通り鐵鑛石を鎔鑛爐で溶して出たもので、鋼鐵とは違ひ鎔鐵と稱するものである。

製鐵所計畫の具體觀

其後明治二十四年の頃になつて、海軍に於ては軍需品の獨立を計る爲めにはどうしても政府に於て製鐵事業を經營せねばならぬと云ふので、議案を帝國議會に提出されたのであるが、原料の調査其他が甚だ不充分なりとて、議會は協贊を與へなかつた。仍て引續きこれに關する調査會を設け種々調査の末、更に計畫を立て、遂に明治廿七八年の日清の役に際會して製鐵事業は是非日本に於て確立しなければならぬと云ふことを考へ、明治二十九年一の案を具へて之を議會に提出し、豫算は四百萬圓で、議會の協贊を經、愈々着手して見ると却々それ位の金額で製鐵事業を起すことは不可能であることを發見した。それは當時歐羅巴に派遣されて居つた大島博士—目下支那に招聘されて居る—の調査の結果、そんな少額で製鐵事業は起し得ないことが判つたので、引續き千百萬圓許りの金を追加して、始めて製鐵所を起したのである。

觀光外客招致策私見(六)

=經濟調査會の研究問題= 朝鮮ホテル支配人 猪原貞雄

▲外客を日本に誘致する廣告法

從來日本に於ては一般に遊覽客を案内する廣告法が不備なるやうに思はれます例へば彼の貴賓會等の組織はあつてもこれをビジネスライキに實際の事柄として海外に紹介したものは無いやうです、今日ではジャパン、ツーリスト、ビユウローの如き立派な案内機關が出來たのでありますから直接に今少し進んで外國の新聞、雜誌乃至は著述などに紹介されたいものと思ひます、從來ホテル協會其の他ホテルの廣告なるものは現に日本に向ひつゝある人若しくは來るべき人に對してのみの案内であつて直接海外の觀光客を誘致しようといふ意味では無いやうです、將來はどうか外人客が進んで日本に向ふやうに努めなければなりませぬ殊に從來の觀光客は主として春のチエリーシーズンとか秋のメープルシーズンに來るので彼の觀櫻、觀菊御宴を中心として集散しつゝあるのですがこれは日本の如き四時花を絶たざる國に於て殊に山水の明媚到る處溫泉海水浴場の多き國に於ては甚だ遺憾に堪へざるところと思ひます、若し日本のホテル其の他が觀光客の足を留むべく暖房設備を完備し夏は蚊と蠅とかを防ぐ爲め『スクリン』を設け通風に留意し冷房設備を用意したならば遊覽場所の多き四時ともに外人を招致するは決して難事では無からうと思ひます、要するに氣候溫暖なる日本に於て日本自ら季節を限るが如きは甚だ遺憾なる事實と言はねばなりませぬ

萬里の長城

附明の十三陵 鐵楚生

—(六)—

六騎は已に行つた、遅れじと、鞍上に騎り移り行く事漸く三歩なるに我が驢馬の意地汚なさよ、路上の馬糞に鼻押し付くべく歩み乍らに頭を垂れた刹那、ハツと思ふ間もなく體は既に地上に浮いてゐた。瞬時の後泥にまみれた服を拂ひ乍ら苦笑する我が姿を我れと認めて殊更に馬夫を叱したが既に詮なし。落驢馬の洗禮を受け九月八日の旭日差す高粱畑を馬上に分け、馬に騎するの要諦は體を馬に任せるに在りと悟る。馬飛べば我れも隨つて飛び馬走すれば我れ亦走す。馬獨り走するに我れ獨り沈む時其處に調和破れ、即ち落馬する—馬上哲學には夫れでも全一日を費やしたのである。畔に雀躍を作つた高粱畑の高き丈餘の間を過ぎ或時は水なき河原、或時は灌木叢る村落、又或時は石多き凸凹道、二時間近く騎した後ち畑中に屹然と立つ大牌樓に會ふ。高さ三丈幅十間餘色は雨露に錆び、白きは風雪に曝されて苔蒸し草生ひ茂つてはゐるが柱には交龍畫獅の彫刻あざやかに、流石十三陵に入るの正門として恥かしからぬ大觀がある。少憩の後坦々たる大道昔の儀を殘せるを北に行事二華里にして大紅門に達する。瓦剝落し亡びし者の哀れが殘れる。門柱傾き黃瓦……更に一華里、大明長陵神功聖德碑と題する碑亭があり中央に龜に載た碑石あり永樂帝の頌を表にし裏に乾隆帝の哀明陵三十韻を刻してあると書き續けた處で鳥渡非大傻魔の度も豫測し兼ねるが、北處から先が鳥渡面白い。

流石四海に覇を稱へた明朝歷代十三帝の寢陵地として堂々たるものあるが碑亭の北には約十町餘の路側に有名な石人石獸が居並んでゐる、高さ一丈數尺、大理石の色もまみれて汚されてゐるが獅子、駱駝、象、麒麟、馬それに武人文人勳人の各一對が數間を隔てゝ或は瞑想し或は沈思した容を爲し首を垂れ足を折り、諸ともさながらに心あつて悼むが如く悲しむが如き形容彷彿として眞に迫るものがある。南京にある明の先祖の石人石獸はもつと規模は大きいなあ—と南から來た僕に詳しい學生連は馬を捨てゝ獅子に騎し象に戲れて興じてゐる。一列の石人石獸を一眸に飲め、一傍らに馬を立つれば身は現代を出して不知の境を彷徨するかの思ひも湧き、眼路北に辿れば天壽山の黃、色未だ鮮やかに映ね渡るは成祖の長陵、其東方は宣宗の景陵、更に谷を隔てゝ位するは仁宗の獻陵、其他の數陵總て十三陵峰を分けて諸他の數陵總て十三陵、松樹の間黃瓦朱壁、櫛比相連り點々指呼の裡に展開してゐる。實に陵地として是れ程に規模大なる景勝の地が他によくあり得やうかとの思ひさへ湧く。

放浪漫記

大谷光瑞

九月十七日上海に於て

八日午後、觀月と觀潮の爲、杭州に向ひ出發致候。西湖の風景は幾回見るも飽かざる好景にして、特に荷花猶殘し、滿香自在に舟中に來るは、意外の餘福に御座候。本年は何故にや殘暑猶去らず、上海に著してより九月十一日に至るまでは毎日高最九十三四度に及べり、此の期間に於て通常頻發すべき大風は、太平洋に存在せる高氣壓に抑止せられ、北向する能はず、安南海灣に入るを以て、支那東海岸は偏南風を起し、溽暑耐ゆるべからず、シンガポールを發してより、北上するに從ひ氣溫は更に遞減せず、却て上昇し意外の現象を呈し候。如此き事を豫知せば、更に一二便を遲らし、シンガポールに滯在せし方得策なりしと、後悔の臍を噬み申候。十日の夜は月は正圓ならざるも、淸光中天に輝く、夜氣頗る爽快を覺へ、特に荷香を喫ぎ、一間の溽暑を一洗致候。十二日は中秋の當日なれども、朝來より雨あり月なし、特に雨を催してより太平洋の高氣壓は形を沒し、江北に高氣壓を生じ、爲に偏北風を誘起して氣溫激減、前日に比するに十三四度を低下せり、葛衣冷を覺へ却て困難致候。觀潮は中秋後の第三日、即ち陰曆十八日を最良と古より傳說致候例年上海より觀潮の遊覽列車を發し、海寧に至り、海寧の錢塘江堤にて觀潮致候。今年も同樣の計畫にて、二百名の乘客を滿せる觀潮遊覽列車を運轉致候。小生は杭州より長安まで汽車にて、ここより轎子にて海寧の錢塘江堤に至り觀潮致候。杭州よりの遊覽者も、非常に多數に御座候。往年は杭州城外十餘支那里の堤上にて觀潮せしが、近時は錢塘江其の水身を變じ、爲めに泥沙淤塞し、之を觀るに便ならず、故に現今にては海寧に至らざるべからず、潮は錢塘江口に於ては廿七八呎なりと雖も、地勢の爲他に見るべからざる壯觀を生ず(未完)

日報歌壇

(西上文泉選)

君とわれ愼ましやかに過ぐる野邊さら〳〵と穩ぐめる稻のささやき
蛼蟀かに鳴ける蟋蟀にかすかに秋のふるへ來にけるあかるみし柿の便りもうら悲し娃

(荷本たかし(京城))

『としチ』の片假名の文
生くる日をもの憂しと思ひ死ぬる日を果敢なしと思ひ甲板に立り
海戀し、戀しきもの一つには港の軒の海燕

師範講義

新設簡易科 今回尋常科教員及び師範學校入學受驗者の爲め簡易科を新設して十月一日より開講す卒業期僅に六ケ月なれば明年三四月の小學校卒業者の十月分間に合ふべし受驗者も此科に入りて補習せんとするを可とす講義の他科と共に會則に添ふ無代進呈す

師範本科 師範本科と改稱し大改正を加へ從來の講義に數名の更迭あり本科正教員受驗者及び師範中學高女程度の普通學を修せんとする男女此科を好適とす

英語科 英語科はABCの讀み方より始めて最も平易親切に英語の實力を養はしむ目下入學好機

會長 澤柳文學博士

本會三大特長 師範本科(改正)一年半卒業 簡易科(新設)六ケ月卒業 英語科(短縮)一ケ年卒業

改正會則無代進呈 東京牛込津久戸町 本會 師範學會

日本師範學會出版書 小學教員受驗の栞 檢定試驗 定價上製八十錢並製五十八錢稅八錢 大正五年度檢定問題答案集 各府縣

東京遊學及苦學 定價金三十錢郵稅金四錢 學校案内學資の說明及苦學者の手引

秋の夜長の絶好讀物・十月號

講談雜誌

怪談 小幡小平次(卅餘頁の大長講)……神田伯龍
天明白浪傳 鼬三次……錦城齋典山
膽潰し(落語)……談洲樓燕枝
淺尾召抱……桃川如燕
松平石州 樺太談判……小金井蘆洲
隅田の渡し(落語)……三遊亭圓遊
旅愁(不思議なる大判の捕獲の事 特別讀物)……鏑木淸方筆
小栗勇士 泥龜退治……桃川若燕
突落し(落語)……春風亭柳枝
永井源三郎 美人の贈り物……猫遊軒伯知
谷崎主殿(下)……大島伯鶴
尾上松緑 草枕戀旅杖……一龍齋貞山
奥州白浪 音無川の仇討(三十頁の大長講)……悟道軒圓玉

定價二十錢 郵稅前金……東京本石町 博文館

株式會社 漢城銀行
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
明治三十八年設立
資本金 參百萬圓
京城府南大門通一丁目十四番地
電話 長二二三九番 一六四六番 一八六二番 振替京城二二〇五
支店所在地 水原、平壤、大田、開城
出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

婦人世界 十月號

斷食の實驗と其効能 卅八日間實驗者……村井弦齋
四五歲の子供は危ない……
□佐倉宗五郞は三百代言に非ず……
□伊賀越仇討の實說調べ……
△第五週目の體力と意識
△第六週目に空前の精神感動
△腦中澄渡つた天國的愉快
△第七週目に又何を感じた
□新らしくなつた支那婦人……
□若き細君の煩悶解決
□初めて學士となつた私……
身を亡ぼし子孫を亡ぼし國を亡ぼすコレラ肺病よりも恐るべき病氣 婦女男子を襲ひ來る(警告者)岡村山口兩醫學博士 本間醫學士 佐藤ドクトル等
□龍巻……渡邊霞亭
□雪中梅……下田歌子
□女が繪を書く時の心持……
定價一冊十七錢 郵稅一錢五厘 半年壹圓貳拾錢
發行 東京京橋實業之日本社 振替三二六

下關期米特電 ▲二十二日後場(暇町季好ろし)
▲後場の手振
▲休日越し如何
寄付 止高 安値
▲我兒を殺す人 京畿道安城郡

大正五年九月二十三日（土曜日） 京城日報 （明治卅九年九月八日第三種郵便物認可） 第三千二百四十七號

◎好意的中立態度
公友倶樂部非合同派の申合

公友倶樂部現狀維持派の中堅たる實業家組は廿一日午後より日本橋の某所に會合し三派合同問題に伴ふ態度に關し凝議したるが參集者は丸山芳介、大木喬命、金澤仁作、河崎助太郎其他數氏凝議の結果三派合同には贊同せざるも大隈侯に對する好意は變る事なく來月一日の代議士總會には飽迄現狀維持の主張の下に三派合同參加を非とすると共に新合同派外にありても常に好意的中立の態度に出づ可との申合せを爲したり尚最近合同派の隈侯推戴說漸く有力にして隈侯にして大勢に促され自ら新黨を首たるに至らば形勢は頓に一變し公友派中四十名內外の合同參加者を出すやも計られざる形勢にあり（東京特電）

◎匪賊巡警局を襲ふ
交戰一時間半＝邦人一名負傷

二十二日午前六時二百名の匪賊撫順の支那巡警局を襲ひ一時間半に亘りて交戰我が見物人一名負傷せり守備隊は附屬地の危險を慮れ休戰を命じたるが右は公主嶺にて解散せし宗社黨の一部なり（奉天特電）

◎馬匹返附と張氏感謝

我が軍の爲めに武裝を解かれし宗社黨の武器は沒收せしも馬四百頭は二十一日好意的に支那に返附したるが張督軍は大に感謝の意を捧げたり（奉天特電）

◎露羅兩軍飽迄攻勢

ブカレスト來電＝露羅兩軍は獨勃の攻擊を禦ぎせるのみならず却て逆襲を行ひて敵に非常なる損害を與へたり（紐育電報）

◎ウ井ラ將軍の暴威
チワワ市の囚徒二百を解放

華盛頓來電に依ればエルパソ駐在米國司令官ベール將軍より陸軍省に達したる報告に依れば墨國ウヰラ將軍は去る十七日チワワ市襲擊の際カランザ軍の大砲數門と小銃並に彈藥若干を鹵獲し更に在監中の囚徒二百名を解放せしめたり尚ウヰラ將軍はカランザ軍の兵士百餘名を加擔せしめ同地退却の際一場の演說を爲したり（紐育電報）

◎定例閣議開會

二十二日は閣議定例日に就き午前十時より首相官邸に於て開會の筈なりしも首相脚部に疼痛を催し步行不自由の爲め午後一時より早稻田の私邸に於て開會石井外相より外交に就ての報告ありたる後武富藏相は前日に引續き來年度豫算查定に關し說明未了の款項目を說明し三時過散會せり（東京特電）

◎下院奉祝協議

衆議院にては二十二日午前九時より院內議長室にて各派交涉會を開き島田、早速正副議長以下各交涉員出席來る十一月三日御執行の立太子式に捧呈する賀表文の起草及び捧呈手續等に就き協議したるが右は總て議長に一任する事に決し散會せり（東京特電）

◎工業校長任命

既報の如く去る十九日の閣議に於て決定したる東京高等工業學校長手島精一氏の辭表聽許と同時に左の如く後任發表ありたり

東京高等工業學校教授正四位勳三等工學博士 阪田貞一
任東京高等工業學校長兼教授（三等）

東京高等工業學校長 手島精一
依願免本官

尚手島氏に對し同校名譽教授の稱號を授けられたり（東京特電）

◎鮮銀借款成立
後の奉天市況

奉天に於ける最近の財況を聞くに八月上旬沛然として潤雨あり全省大旱の杞憂は忽ち豐作の喜びと轉じ市場の人氣一變したると同時に奉天省に對する鮮銀の

▲借款二百萬圓 の成立するあり爲めに各市場は從來の鈍狀を破り一齊に生氣を帶び來り先輸入貨物の荷動き俄に增加し麥粉綿布類の賣行至極順調となり中秋の節季近くに從ひ下旬以降の市況は更に引立ち取引漸く繁忙の域に入り當業者は頗る喜色あり去り乍ら綿糸布麥粉類の如き金高のものは二三箇月の延取引なれば差當り金融界に影響を及ぼすに至らざりしも小口各地仕入の荷受け資金は相應に需要を見たりと輸出界は前月同樣小麥胡麻羊毛の出荷兆々たる外收穫期には間もある事とて

▲大口取引なし 叛軍の郭家店進出及び宗社黨の活動等が奥地との取引に多少の影響を與へたるは勿論なりしと雖も甚しき打擊はなかりしもの如し古金物類は下旬より內地相場昂騰し注文續來したるも在荷薄の爲め別段の活況を呈するに至らずして越月せり而して前月來一時多額の需要を喚起したりし支那銀行に對する兌換取附資金も中旬以後著しく減少したるにより結局當月中に於ける金融は前月同樣緩漫を繼續せり次に小洋票に對する制限兌換は中旬以後大洋錢又は金票鈔票露貨にて無限制に兌換せらるゝ事となりしが大洋錢の處分困難なると其他の事情により兌換請求日々に減じ一方支那銀行は前月來引續き自行發行票の回收を勵行したりしを以て硬貨と票との差千元に付

▲月初七十五元 なりしもの月末二十元に短縮し兌換問題も茲に一段落を告ぐるに至りたり而して此の間支那當局者は從來の小洋票を回收しこれに代ゆるに大洋錢を以てし支那本部地方と同樣漸次大洋錢制をとらんとし種々畫策する所ありと雖も多年小洋錢の流通に慣れたる三省の取引慣習は容易に變更せられざる可きは明白の事理なるを以て前途尚ほ幾多の曲折を要すべし

◻兩陛下還幸啓

天皇皇后兩陛下には豫て仰出されたる如く二十二日午前七時十五分幾多の供奉員を隨へさせられ日光停車場御著間も無く御發輦同十一時二十五分上野驛御著 天皇陛下には添田總裁の御先導にて御降車皇后陛下には岡田管理局長の御先導にて千種典侍以下の女官扈從しプラットフォームに進ませられ奉迎の大山內大臣、東鄕大勳位、首相以下各國務大臣、貴衆兩院議長、其他文武官、華族等百餘名の奉迎を受けさせられ 天皇陛下には鷹司侍從長 皇后陛下には千種典侍御陪乘御迪路に整列せし近衞第一旅團各部隊の奉迎を受けさせられ御機嫌麗はしく還御あらせられたり（東京特電）

◎總監永興視察

文川永興間鐵道開通の爲め山縣政務總監は大屋鐵道局長官、宇佐美內務部長官、秋山遞信局長官、池田遞信參事官帶同池邊秘書官、藤波通譯官等を隨へ其の試乘を兼ね同地方視察として二十二日午後十時南大門驛發臨時汽車にて永興に向へり、一行の歸任は二十四日夕の豫定なり

◎釜山浦鹽航路
朝鮮の新計畫

釜山元山對浦鹽貿易は今春來漸次旺盛を加へ最近に至つて一般船腹の不足を感じ往々積み殘りの勢ひを呈せんとする狀態なるを以て朝鮮郵船會社にては此の間に處し新に汽船竹丸（一千二百噸）を借入れ釜山元山浦鹽線に配し從來の平壤丸及び忠淸丸と併せ都合三隻を以て頻繁に航海せしむる事となりたり右に由り荷物の停滯積殘り等の不便を除く事を得るは勿論漸次發展の途にある鮮露貿易上貢獻する事尠からざる可しと

◎芝浦間航路乎

芝罘交通公司が汽船を內地より傭入して九月以降元山浦鹽間に新航路を開く事となるべしとは既報せしが其後聞く所によれば同公司は汽船直江津丸（七百餘噸）を借入れ愈々浦鹽航路を開始する事となり機樣なる調查の結果元山浦鹽線より芝罘浦鹽航路とする方往復共に荷客あり有利との事に決定せしものゝ如く多分元山浦鹽航路は沙汰止みとなるべしと

◎朝鮮物產紹介
京城商議の露領調查

京城商業會議所は曩に開會したる役員會の決議により東部露領西伯利亞に於ける貿易情況の實查並に朝鮮物產紹介の目的を以て書記長大村友之丞氏及び通譯の勞に當る加藤氏等を派遣することゝなりたるが今回の視察は單に通り一遍の視察とは大に其の趣を異にし少なくも一箇月間の日子を以てイルクツク及び西伯利亞沿線地方に於ける朝鮮生產品需要の狀況を實地に付き調查を遂げ現品を携行して販路及び其の商品に對する批評を受けんとするものなれば同地方視察の志望者は同行を諾し通譯其他の便宜を取計ふ可く又同行はせざるも相當の產額を有する朝鮮物產にして同地方面への販路を開拓せんとする向は價格生產數量其他商取引一切に關する要望詳記の上來る二十七日迄見本取揃へ提出されなば同地へ携行し相當紹介の勞を取るべしと

◎朝鮮入籍頻々
大型汽船の轉入

諸稅の低廉並に近く內鮮間關稅撤廢後內地轉入可能を見越し外國在籍船を內地資本家の購入せし場合朝鮮に入籍を企つるは最近海運界の一事實なるが最近も大連田中合名會社所有英福丸（三千二百餘噸）は東京白金福川林業株式會社に於て購入し仁川に籍を置く事となり又た大連南滿洲汽船株式會社所有富國丸（四千六百五十五噸）は京城本町橋本合名會社にて購入愛島山丸と改稱釜山に入籍する事となり双方共既に入籍の登記を終り今後も尚ほ續々出で來るべき傾向あり英福丸は多分材木の運搬に從ふべく愛島山丸は內地海運業者に貸船する事とならん尚ほ以上を以て本年に入り大型船の朝鮮入籍は中樽組の第五吉浦丸大阪永田氏の永田丸橋本會社の信貴山丸を合はせて五隻となり朝鮮在籍船舶の噸數俄に多きを加へ來れり

◎慶南の浮塵子

慶尙南道管內にては晉州、宜寧、咸安、梁山、蔚山、東萊、統營、固城、泗川、河東、山淸、咸陽、居昌の各郡內各面若くは其の一部の水稻に浮塵子發生せるより府郡吏員產業技手等は農民を督し其の驅除に努め居れるが近時農民は浮塵子の驅除に對する思想發達せるより多大の成功を收め居れりと

◎八月京城商況

米價は時々高低なきに非ざりしも大勢久しく弱氣配を呈せしに仁川期米に於ける第一回米作豫想悲觀の結果相場大口受渡のありたると一方大阪に於ける高値を唱ふるに至り延いて當地方にも多少影響を及ぼしたる等の諸原因相倚り相俟つて漸次米價騰貴の傾向を示したるも地方在米品薄の爲め荷動依然鈍く只多少小麥の出廻を見たるに過ぎず次に移入品を見るに綿布類は鮮內地需要期節に入りしと支那並に內地の輸出依然旺盛なる等市價漸次昂騰せるに拘はらず更に先高見越買進みもありて相當の好況を呈し綿糸も亦之に伴ひて騰貴せり又雜貨節季に際し鮮商側に於ても諸雜貨其の他相應の荷動を見たり而して牛皮も亦軍需品關係の爲め引續き相應の出廻を見依然相場高値を持續せるものゝ如く一般の商況移入品にありては相當の活況を見たり

◎學校新築決定

京城學校組合會議は前回に引續き二十二日午後二時より開會出席者九名金谷府尹議長席に著き直ちに委員會の結果に就て山口委員長より委員等は府尹と共に親しく實地の踏查をなし總督府當局者とも交涉を重ねたる末豫定敷地と豫算面とに多少修正を加へたりと報告し讀會省略にて可決確定せり續て田中半四郞氏の高等女學校及び商業小學校に鮮語科設置の件山口太兵衞氏より京城中學校の收容定員增加の件等を建議したるに一同之を贊成可決確定し四時半散會したり學校は數日の內に直ちに土工に著手し來月早々建築に著手すべし

◎燈臺建設工事

南鮮方面に於ける山地島燈臺及び北鮮梨津各燈臺の建設は目下其々取急ぎ遞信局工務課にて工事中なるが近く出來上點燈を開始すべし

◎錦山街道視察

忠淸北道錦山は大田と商關係も深く從來錦山の特產物なる白蔘、繭、藥草等凡て大田に運出し大田より凡て貨物を供給しつゝありて百萬圓の實物の關係あるに拘らず道路不完全にして車馬を通ずるに困難なるが故に大田よりは忠南長官に錦山よりは忠北長官に道路改築の件に付き兩三度請願する所あり道當局も其意を諒し近く實查に着手する運びとなり居るも尙ほ念の爲め大田實業協會にては陶器製造場及び朝鮮紙製造場視察の旁錦山道路を視察する事となり二十日諸谷會長及評議員數名にて踏查せり

◎京城神社の社費

京城神社の社費徵集方法に就ては曩に開會の氏子總代會に於て委員附託となり其後委員の手にて調查審議中なりしが從來の社費の內醵出金の賦課方法は一戶當り十五錢にして貧富の懸隔なく徵集したるものなるため斯くては不公平を免れずとの意見出で今回新に學校組合費を標準に一二三等の三階級に區別し賦課するを妥當なりとし二十二日午後七時より社務所に於て總代會を開き協議することゝなれり而して本年度の醵出金は二千二百餘圓にして內千六百圓を內地人側より募集せしめ殘額は李王職其他主なる貴族より徵集して一般鮮人よりは徵集せざることになりたりと

◎隔離病舍增築

仁川府廳にては二十二日午後二時より府協議會を召集し新花水里隔離病舍六十坪の增築及び事務員醫師雇入等に關し諮問したるが原案通り可決し同四時半散會したり因みに同隔離病舍增築費は三千七百圓の豫算にて二十二日夜より工事に著手し晝夜兼行にて二十四日迄には開院する豫定なるが規模はバラック建四十八室にて九十六名迄の收容力を有すと

◎府尹議員の寄附

仁川に於ける虎疫は益々猖獗を極めつゝあるを以て久水府尹及び河野、美野谷、加來、稻田、茂木等の府協議員は六十五圓を醵金し此れを豫防驅除費として二十二日仁川警察署に寄附したり

◎德亭驛大貨物取扱

鐵道局にては十月十五日より京元線德亭停車場に於て車扱及び一車積噸扱ひ大貨物の取扱ひを開始する事と成りたり

◎河田貫三氏逝く

丸龜稅務監督局長在官の儘支那政府顧問に聘されゐたる河田貫三氏は先般來東京に歸省中なりしが二十一日朝病氣の爲め逝去せりと

人事消息

▲和田土地調查局總務課長 二十一日夜金南へ
▲岡本遞信局技師 二十二日朝仁川へ
▲前端千帝氏（兵庫縣技手） 廿二日夜入京山本旅館へ
▲積田貫次郎氏（兵庫縣農事副會長） 同上
▲那波德治氏（兵庫縣神崎郡長） 同上

南言北語

獨逸が瑞西にある萬國赤十字國際委員會に屢々黑人兵の行動に關して抗議をして居る▲正義も人道も無い兇暴な獨逸が吾々以上だと云はぬ許りに泣き事を並べて居る處を見ると斯ふである▲同じ黑人兵でもセネガル、ヒンジー、チユルコ等は最も標悍で何でも獨兵を見付け次第目を抉る耳を千切つて首環にすると云ふ亂暴▲其れのみならず首と指を切つて戰勝記念物にする相な▲甚しいのになると彼等の監守する占領地では婦人に對しても彼等の自由に放任してあると云ふ樣な事もあると云ふ▲委員會では早速獨逸に回答を送つて曰く▲黑人兵の殘酷な行爲は實に哀悼の外なけれど獨逸も白耳義其他地方に於て人道及び文明の點より全然別異の行動を敢てし居らざるを惜むとやつて居る▲鳥渡其黑白は論じ難しだね▲虎疫も何うやら京城に近侵入したらしいが其ふく神經過敏になつては却て惡い▲元來虎疫菌に對しては梅干が大に菌力を以て居ると云ふ事は何人も知つて居るが扨て其れが何れ位のものかと云ふと▲今普通の人の食事一回分として飯三碗、味噌汁一碗、茶二杯を取るとして之に梅干一個を潰ぶした中に菌を入れると死する▲又梅酢の百倍のもの、中へ虎疫菌を試みに投入して見ると五六分間で死す▲だから頗る有効な事が分る▲其うビク〳〵しなくつても好い沈著と保健は今日唯一の金言である

◻定例休刊

明日は秋季皇靈祭翌日に付例に依り休刊す

◎京畿檢疫委員

總督府は九[illegible]川繁一郎▲警視松井信助▲警部小野英勇▲警視松元[illegible]中川岩右[illegible]▲[illegible]西岡久夫▲道書記山內宗生▲部[illegible]雄▲府事務官石原留吉▲香督部[illegible]良、金和健、今村壽市、栗林良三[illegible]

[illegible]れども復舊迄には[illegible]二週間を要すべ[illegible]く之れと同時に[illegible]

[illegible]野[illegible]御所村生れ[illegible]石工小職猿藏（三三）[illegible]は本年四月頃より元山泉町土木請[illegible]幾四郞の不在中まつ[illegible]が獨にて就寢[illegible]ねつけられたるより六月十九日早朝[illegible]し殺人未遂事件は此程咸興地方法院にて懲役七年の判決を受けたるが之[illegible]松並木に[illegible]進行中なる鐵原郡於玄洞[illegible]の安敎邦を捕へ棍棒を以て[illegible]三年[illegible]は同十二年の處分となれり

◎狹い女の心

京城內景洞金[illegible]

ペン習字[illegible]

目下家庭寫眞が大流行 何時にても御家庭へ伺ひます
寫眞の好期節になりました
夜寫は五千燭光室素電球を以て晝と變らぬ樣寫します
京城南大門通三 電話一〇四〇番
京城寫眞館

目錄申越次第送呈 參圓八拾錢より（最新婦人用あり）
日本一パイン万年ペン
修理部（如何なる大破損も即時修繕） 京城旭町二の六 東京榛松出張所

虎列拉病流行の兆あり
消毒用噴霧器
大口徑一本管 拾壹圓
小口徑一本管 七圓五十錢
衛生消毒は焦眉の急務なり
京城本町 熊平支店
電話六二二番 振替京城二四三番

日韓書房
新版報告
谷崎潤一郎著 刺青 定價九十五錢 送料八錢
三宅雪嶺著 改訂縮刷 想痕 定價一圓二十錢 送料十二錢
橫尾賢宗著 生死透脫 禪と武士道 定價一圓 送料十錢
永田岳淵著 縮刷 實業立身傳 定價五十錢 送料八錢
小波著 お伽新日本 定價九十錢 送料十錢
京城本町二丁目

九月廿三日より新寫眞提供
△本日は祭日明日は日曜に付兩日共晝夜開館仕候

舊劇 九紋龍長次 全三卷
大活劇 死のダンス 全三卷
新派悲劇 神かくし 最長尺
餘興浪花節 十一歲の奇童 吉田百々雀
おなじみの浪子改 吉田奈良子
每夜演題取替御聽に入れ升
本町一丁目（三越前） 有樂館

朝鮮總督府法定消毒藥
アイゼル液
無比の防臭作用と殺虫力を併有す
全國藥店にて販賣

明治公債株式會社朝鮮支部
▲外務社員募集
京城府東拓會社隣
電話一九〇八番（振替京城二五五〇番）

吉田秀[illegible]上末次郎、高橋靜、朝山英夫▲[illegible]鮮觀宮館員一▲警部佐藤貞治、金[illegible]橋口好一▲警視滿野秀吉▲警部渡邊仙次郎▲公醫野北[illegible]雄▲府書記[illegible]

[illegible]十六間に達し東[illegible]村[illegible]せり[illegible]て其後賦役を以て修理に努めつゝあ[illegible]

●殺人未遂は七年　德島縣[illegible]を遁せんことを[illegible]拒絶せられたるも同女に[illegible]射撃したる際物[illegible]駆付けたる西尾某女に防止せられて果さざり[illegible]は共謀し本年[illegible]日夜同町大位[illegible]里の北方約十丁位なる金化街道の[illegible]回に[illegible]強奪したる[illegible]件は[illegible]地方法院にて懲役十[illegible]

●疑似から眞性へ　檢鏡の手續き

疑似虎列拉發生といふ報道が新聞へ出ると讀者はそれが眞性の虎列拉であるか無いかと云ふ事が確定する迄は非常に疑惑と不安とを感ぜずには居られない、疑似患者が眞性と確定するまでには少くとも

▲二十四時間を　要するから一寸考へると患者は最初疑似虎列拉に罹つてそれから漸次眞正症に進んで行くが如く思はれるが決して然うでは無い眞正の患者は發病抑の初めから眞正の虎列拉病者で有る斯う云ふと多くの人はそれなら醫師は何故最初から眞正虎列拉と診定して一時間でも速かに一般公衆に警戒を與へないかといふ一方檢疫醫の方の立場から云ふと却々其う手輕には行かないと云ふのは例へば京城に一人の虎列拉患者が發生したと云ふと多大の犧牲を要する事は素より著しく市況の沈靜を來たす虞あるを以て初發患者に在つては能ふ限り

▲愼重の檢査を　行はなければ成らぬ萬一他の類似患者を誤つて眞正虎列拉なりと診斷して一都市一地方を騷がすやうな事が有らばそれこそ檢疫醫の責任問題で有るから初發患者に在つては最後まで細菌の檢査を行はなければ成らぬ、先づ京城の如き都市に時節柄虎列拉病と同じ症候を呈する烈しき吐瀉下痢を起した患者が在るとすると檢疫醫は直ちに其の患者の糞便又は吐瀉物を取り來つて顯微鏡にかけて見て若しも其の中にコンマ形の細菌を發見すれば此の患者は直ちに疑似虎列拉患者として相當の消毒、患家附近の交通遮斷を行ふ事に成つて居るがコンマ形の菌は虎列拉菌ばかりでなく

▲其他の菌にも　コンマ形をして居る物が有るから先虎列拉菌が非常によく發育するペプトン水（ペプトンと食鹽とソーダとを水に溶解したもの）の中で培養して見るのである此ペプトン水の中では虎列拉菌以外の菌は多く死滅するか或は少しも發育しないものである、此れを增菌法と云ふので有るが此れを完全に行ふのに約六時間を要するが更に此の增菌したコンマ菌を今度は寒天培養基に容れて培養する之れを分離培養と云ふがこれに約十五時間を要するそれから別に虎列拉菌を注射した

▲牛馬の血清を　取つて其の中へコンマ菌を入れるとそれがもし眞正の虎列拉菌であれば一處に固まつて終ふこれを凝集反應と云ふがこゝまで檢鏡手續を行へば最早や疑ひの餘地が無い眞正の虎列拉であるが最初の時に在つては更にコンマ菌とコレラの免疫血清とをモルモットの腹腔内に注射するとコンマ菌が眞正の虎列拉菌で有ればモルモットの腹腔内に於てコレラ免疫血清の爲めに溶解消滅して終ふ此れを溶菌作用と云ふがこれに一日間を要するから最初の溶菌試驗まで爲るにはどうしても二日以上を要する譯であるが最早現今の仁川の如うに

▲續々眞正患者　が發生する時に成れば患者の症候と吐瀉、下痢物中にコンマ菌を發見すれば直ちに眞性患者とするから檢鏡は增菌試驗位までしか爲ないとの事である

●貿易には大した影響は無い　虎疫の流行と仁川市中＝細民の困憊

虎疫發生以來仁川に於ける各方面の打擊は著しい者であるが就中同情に堪へないのは飲食店、果實商、魚屋其他漁夫下級勞働者等であらう、殊に鮮人

▲下級勞働者　は何れも鐵道線路以北に居住者が多い事とて交通を封鎖されて以來と言ふ者は殆んど警戒線外に一歩と雖も踏出す事が出來ない爲め忽ちに口糊に窮して府廳の救助班が施米する迄三四日間も一家數人相擁して飢に哭いて居た者が夥くはなかつた、斯んな狀態で人夫や一般勞働者は働くにも働かれず稅關築港事務所運搬業者等の使役者の方でも人夫の供給が無い爲どちらも手を空しうして非常な窮地に陷て居るので市中は虎疫が猖獗を極て宛然

▲戰場の樣な　有樣なのに反して一般市況の沈衰は爭はれない惡疫發生前迄は稅關に使傭する港内人夫築港に從事する土工、大和組、朝日組、扇島組等の鮮人夫森村其他の運送店で使役する人夫は少く共千人以上に達して居たが目下では其の三分の一だも出勤せないので使役者の方では大恐慌を來して遙かに市中の苦力を狩り集めて之れを驅使し辛ふじて

▲工事の進捗　を計つたり急を要する貨物の輸送、積込等を計つて居る、精米所製鹽所等も矢張同樣で選米工女の如きは殆んど四分の一も出て來ない計りでなく日一日と其の數を減じて行くので工場主は何れも青息吐息の狀態である更らに悲慘なのは漁夫で昨今魚類は京城方面に出荷が無い價格は殆ど問題にならず

▲需要は極端　に減退すると云ふ風であるから出漁する事も出來ず何れも其日〳〵を辛ふじて凌いで居る貿易狀態は市況不振の爲めに其の影響を蒙つて居るかの樣に思はれて居るが實際に於ては左程でもないらしい、と言ふのは秋の季節物は八月頃大體の仕込を了つて居るし重要移出品たる米も內地安の爲めと定期渡米に在庫して居る關係上

▲十八萬石位　の米が發生前から停滯して居るから虎疫の影響が貿易上に打擊を與へたとは思はれない相である然し此のまゝ本月の末頃迄續いたならば多少は打擊を蒙るであらうし冬物の仕込も自然手控へとなり米の如きも新米の出廻期を目前に控へて居る矢先輸移出不可能とでもなれば市中は疲憊の上にも疲憊を來す樣な者で憂ふ可き結果を招致するのは瞭であるとのことである

●廿五日頃には快晴を見ん　防疫にも好都合

虎列拉菌の消毒には日光消毒が最も有效であるが仁川其他沿岸各地に虎疫が發生して以來と言ふ者は陰霧定まりない天候が打續いて大地も大氣も甚しく濕潤して居るから堪らぬ虎列拉菌は猛烈な勢を以て繁殖する繁殖した菌は降雨の爲めに流されて到る處に蔓延すると言ふ風であるから虎疫が陰慘な天候が續けば續く丈け益々激烈になるのは當然である然らば此の天候は何日迄續くかと言ふに平田仁川觀測所長の談に依れば「本年の雨量は例年に比して多いと言ふ程でもないが此の數日前から北滿に現はれた低氣壓は非常に發達して二十一日には樺太南部に至り之れと共に滿蒙地方の氣壓が增高して一般に北風吹き寒天勝ちであつた然るに二十一日突如有力な颱風が琉球南部に現れ漸次北進して二十二日朝は支那東南海岸に迄擴大して風雨を催し二十三日朝は九州西方海上に襲來するから自然同日は朝鮮南海岸は勿論朝鮮一體に亙つて險惡となるであらうが二十五日頃には秋空霽れて氣は高しと言ふ樣な天候に恢復するであらう」云々

●初霜

本年八月二十一日咸鏡南道長津に於て初霜を見たるは既報の如くなるが尚同所は九月十二日初氷ありたる旨報告あり之を昨年に比すれば早き事三日なりと尚平安北道厚昌には九月十日忠淸北道報恩には同十二日何れも初霜ありたるが厚昌は昨年に比し二十三日早しと

●熊本視察團歡迎會

熊本縣人會主催の熊本縣師範教育視察團歡迎會は二十一日午後六時より京城ホテルに於て催されたり賓主合せて八十餘名來會し[illegible]在京熊本縣人を代表して一場の歡迎の辭を述べ野田熊本師範校長は一行を代表して謝辭を述べ[illegible]より今回更に其目的たる擴大して第三回視察を決行するに至りたる趣旨を述べ[illegible]付き由來教育地として知られたる熊本縣は他に遜色なき發達を遂げつゝあることの大要を述べ在京縣人をして感慨を深からしめたり次に青木下稔城高等小學校長は一首の和歌を詠じて謝辭に換へ林理事は俳句を以て之に返し盛に郷國風の『ソギャン、バッテン』を發揮して午後九時三十分頃解散せり左に其詠を紹介すれば

同縣人の歡迎會に臨みて　青木校長

ゆくさきにかつのゝぞみをよせつれど古さと語る友でこひしき

林一象

相逢ふて故國ながたる夜中かな

防疫自動車巡回講演　二十五日午前午後

恐るべき虎列剌病は愈々京城に參りました我社にては防疫に對する我京城府民諸君の注意を喚起せんがために四臺の自動車を二組に分ち京城龍山の巡回路上講演を催し同時に防疫に關する印刷物を配布致します講演の場所道順等は更に詳報す

●櫻井町の患者は眞正　原因系統に就ては尚研究中　廿二日午後六時愈々確定發表

既報の如く京城櫻井町一丁目筑紫醫院雇人小室まさ(三)の虎疫眞似に就ては其の後總督府醫院にて極力研究しつゝありしが何分京城にては初發患者のことゝて其の研究上虎列拉徵菌の培養及び其他の手數に三十時間を要し二十二日午後六時に至り徵菌の模樣と其他の兆候とを綜合して茲に愈々眞正虎列拉患者たるの斷定を下するに至れり尤も續發患者なれば檢鏡の結果僅か數時間の内には眞似及び陰性たることの差別判然するものなるも初發患者に就ては二十四時間以上を經過せざれば判明せざるものなりと患者は尙重態なるも二十二日夕刻迄の經過に依れば入院當時に比し幾分良好なる模樣なるが強ち安諸すべきにあらずといふ右に就き檢鏡に從事したる田中丸副醫官は曰く『要するに初發として患者の發見及び防疫の急速なりしは不幸中の幸ひにて今後と雖も萬一疑似患者の發生したる際は逸早く發見すること最も肝要のことなるべし』と語れり因みに原因及び系統に就ては極力研究中なるも何分突發したることとて今日迄尚不明なりといふ

コレラ彙報

▲三百人の收容力　京城府にては虎疫豫防のため各種の準備を怠らず先づ二十二日は多數府民の出入する府廳舍内全部に消毒藥を撒布し大消毒を決行したるが更に萬一の場合に備へんため順化院内の病室に就ても其々設備を加へ總數三百人迄の患者を收容し得る設備を爲たりと

▲新患者十二名　二十日仁川柳町に一名花平里松峴里新花水里に十名及び富川郡邑內に一名計十二名のコレラ疑似患者發生せり尚柳町は交通遮斷外にて最初なりと（仁川）

▲上野醫師の應援　從來同道共濟醫師と共に京釜汽車中に乘込み居りし上野醫師は廿一日より仁川に應援の爲め出張せり京釜列車乘込は汽車接續施行の結果其以前の如く必要を感ぜざるに至りし爲なりと

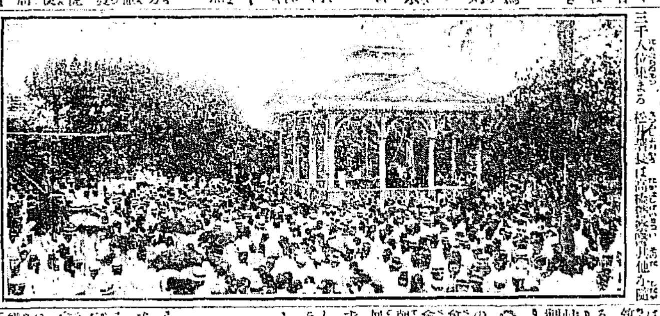
▲列車乘務醫　虎疫豫防の爲め二十二日より當分の内京仁線各列車に委員各一名を乘込ましめ乘客の健康狀態に注意せしむる由なるが京釜線各急行列車の乘務醫は二十二日限り廢止さるゝことゝなれり

▲全鮮の患者　廿二日迄に判明せる全鮮に於ける虎列拉患者は仁川六十四人京城一人慶尚南道十三人全羅南道二人全羅北道一人方魚津四人累計八十五人なりと

▲郵便物の消毒　京城郵便局にては南方より郵便物は汽車中に虎疫患者發生以來外行嚢にアイゼル液を撒布して消毒することは先般來施行中なるが目下仁川及び富平に於て虎疫猖獗を極むるを以て同方面より發着する郵便物は行嚢より取出し自轉に消毒し居れり又一局は地方勤務者を除き本局勤務者のみにても六百三十六名に達するを以て二十二日より萬一を慮り防疫注射を實行し又局入口には手洗所を設け殊に公衆出入の窓口の如きは[illegible]以て手洗消毒水を設け藥液を撒布し[illegible]遺憾なき[illegible]

▲仁川八十六名　仁川に於ける虎疫患者は二十二日午後五時迄に疑似眞正を合せて八十六名に達せり

●虎疫豫防注射　總督府にては二十二日午後一時より第二會議室に於て府內職員並に其の家族全部に對し虎疫豫防注射を行へり次の日も同刻より傭人及び其の家族に對し同注射を施行す可く又た所屬官署に於ても夫れ〳〵職員及び傭人に對し同樣豫防注射を行ふことゝなる可し



パコダ公園の衛生講話

京城鐘路警察署では數日前から管内の居住者戶一人宛を各所に召集してゐるが一日に大概二三千人位集まる　松井署長は高橋醫官其他を隨へて現場に出張し毎日衛生講話をやつてゐる二十二日はパコダ公園で約三千名に對し懇誠なる講話があつた今後尚三回別な所でやることになつてゐる

●恩津彌勒大法會

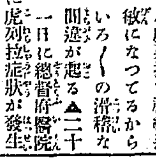
忠淸南道恩津郡論山なる恩津彌勒は本二十三日大法會執行に就き大田井邑間、地境群山間汽車賃往復割引を爲し參詣者の便宜を計る由

●停留者の激增

虎疫流行指定地の擴大と共に連絡船よりの停留收容者增加し從來連絡船乘込み巡査にては到底取調べ行届かざる爲め十九日より更に增加し毎航二名宛四隻に八名を乘込ましめたり之れがため釜山警察署にては巡査に缺員を告げ二十日總務部より八名の應援巡查來釜せり（釜山）

●野球大會見合

既報の如く京龍聯合野球大會は二十三、二十四の兩日龍山鐵道公園にて擧行の筈なりしが時恰も虎疫流行の際とて其の筋より延期方注意ありたるより當分見合はすことゝ爲りたり



▲虎列拉で神經過敏になつてるからいろ〳〵の滑稽な間違が起る▲二十一日に總督府醫院で若し外來患者に虎列拉症狀が發生した時は何うするかといふのでその際の豫行演習をやつた▲則ち事務員の一人が假に患者となつて廊下に吐瀉をしたものと假想して不時に看護婦を召集してその附近の大消毒を施しその當人を擔架で運搬し大騷なぎであつた▲すると其翌日古海醫務總長宛に無名の投書があつて總督府醫院に虎疫患者が出たのを隱蔽して置くとは臭ものに蓋をする怪しからん次第ぢや今日は警察や新聞社の手をからずに印刷物で社會にそのことを廣布すると書いてある▲定めて神經過敏の外來患者がやつたことだらうとのことだ

名產　玄武栗賣出　▲旭町一　玄武堂

●性相學會朝鮮支部の發展　性相學者として有名なる東京の石龍子師の門下限本氏は[illegible]朝鮮支部主幹として當地に派遣し斯學の大陸に紹介しつゝあるが[illegible]する人等新に同會に入會し斯道の研究を始め[illegible]不拘既に會員三百名以上に達せしと云ふ因に同會一箇年分の會費は僅かに一圓五十錢にして夫れに相當る雜誌を毎月會員に配布する由又永樂町二丁目の同會支部に行けば限本氏の性相鑑定を受くる由なるが同氏の性相鑑定は詳細的確にして殊に其說明の明晰に快なること天下一品にして限本式說明法とも謂ふ可きものありとの評あり

▲廿三日正午より開札　書畫骨董入札　南山町三　佐々木聚古堂　電三三三

特製　萩の餅賣出し　製菓博士　本城屋

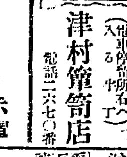
●龍山加藤神社秋季大祭　龍山加藤神社秋季大祭は來る二十四日執行の筈なるが當日は餘興として午後一時より相撲同六時より手踊、淨瑠璃等あり猶夜間は煙花を打揚ぐる由

●虎疫豫防ブランデー　虎疫流行の昨今内地各都市を始め京城にても中流以上の家庭に於ては來客の饗應及び日常飲料としてブランデーを使用するもの多しブランデーには種類多きも京城本町明治屋より發賣しつゝある佛國西オーギール社及びヘンチスシー社の各種ブランデーは有名なる逸品にして一壜一圓以上十圓迄あり其一杯のブランデーの陶然たる醉心地はよく氣分を爽かに元氣を充進せしむるに足りて且つ其の殺菌力顯著にして豫防法として非常に效果あるため賣行最も盛んなりと

●京城衛生社の發展　黃金町三丁目の京城衛生社は從來[illegible]今般滿岡不吉氏が引き受けて[illegible]擴張し熱心誠實に從業する由

臨時特別大興行　黄金館
祭日!!日曜!!　衛生上にも充分注意を拂ひ場內の消毒は勿論空氣の流通に充分注意致して居りますから安心して氣持ちよく見られます
◎△△大活劇　第十名金　第十八篇第十九篇　午後六時半より
◎歐洲大戰爭　戰線內　全六卷　午後二時より　午後八時半より
△新派悲劇　新椿姫　全三卷　午後四時半より　午後十時半より
御家族御連れ立ち是非御來館へ

かつけ特効新薬
陸軍一等軍醫正ドクトル都築甚之助氏發見
日、米、獨政府專賣特許
アンチベリン
▼用法は…內服と注射
▼目的は…豫防と治療
▼常用は…萬全の上策
▼注射は…衛心の救急
▼適應は…かつけ一切
定價　[illegible]
說明書送呈郵券二錢
發賣元　東京市麻布區笄町　南信堂藥局
代理店　京城本町二丁目　木下不老堂
大阪市東區[illegible]　南信堂出張所


簞笥、鏡臺、家具、製作販賣　一御注文により御好調製可仕候
京城本町四丁目（電車停留所右へ入る中丁）　津村簞笥店　電話二六七〇番

夜間撮影仕り候　御家庭御撮影の節は迅速出張可仕候
▲▲▲寫眞
京城永樂町二丁目　赤門寫眞館　電話二八三二番取次

著しく胃を爽快にする　强胃消化錠　マーゲン　島田藥學博士鑑查
特約店　京城南大門通二　新井藥房　大阪上本町五丁目畑田保藥房

京日案內
普通　一回前金[illegible]
番外　一回前金[illegible]
▼中途停載中止の節は料金返戾せず

古本　高價買入　京城本町三丁目　東京堂書店　163

●店員入用　十六歲以上支店得意廻り確實なる保證人を要す　蓬萊町電一〇六七▲三巴酒造場　284
●古本買受交換　御報參上　京城明治町筋　野村書店　電二六三六　281
●高等外交的手腕ある社員招聘（鮮人を不問）要保證人履歷書携帶　京城大和町一、四八　朝鮮寫眞通信社　282
●ひげせんざいは天下一品　旭町一丁目日の出湯隣　一の家　279
▼古樂器類買受▲オルガン、ヴアイオリン、琵琶等　本町二●電一二五七●ウツボヤ書店　165
▼古本大口注文品拂底に付非常高價買受　本町二●電一二五七●ウツボヤ書店　165
●金融　月收の御方へ特に御報同上候　信用秘密立替　京城　275
●貸家　黃金町三の三〇二　荒金湯前通　日本建閑靜にて官吏好適充斯水道設備　家賃拾五圓　電九八九　犬島　278
●松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す　▲光州川藤自働車運輸部　大和町三不老湯前横丁下ル　起木屋
●産婆看護婦及見習生數名採用す　希望者は直接來談あれ　旭町一丁目　中央婦人病院　255
●店員入用　年齢十八歲以上　御得意廻り本人來談保證人を要す　新龍山電車終點前　飯屋雜貨店　254
●恩給年金　低利　即時立替　新龍山漢江通六番地元町　江州屋龍山支店　222
番外　日本人女工募集　希望者は來談あれ　菁薬町　朝鮮製絲株式會社　277
有給社員募集　保證人二名要す　希望者は履歷書携帶來談あれ　シンガーミシン會社　276
高級外勤員採用　但内地人　▲京城黄金町二丁目　共保生命保險京城出張所　283
支那語講習生募集　講習期間六ケ月午後八時より　此際至急申込まれたし　長谷川町銀行集會所前　同學社　248
●社員募集　外交記者二名、營業部外勤員五名　在勤地京城府內、右希望者は履歷書送れ、面會日通知す、報酬面談　京城本町一丁目滿光館留置　前田利民　273
看護婦及見習看護婦女藥局生各數名　至急入用　希望者は履歷書携帶來談あれ但し京仁間に保證人を要す　仁川高木病院　272
●京城春川間自働車　京城春川間毎日午前八時出發　貸金片道四圓　●京城大門通一丁目　●電話二一九番　主務　金正淵　廣橋自働車　195
恩給年金退職賜金　料金歩合三歩五毛　短期無保險低利　京城橋町二三番地　日報社北方一丁　即時立替　國江商會　200
質　大勉強　確實誠意　永樂町一丁目商品陳列館前チョッコン下ル　ハダ　秦　170
恩給年金低利　長期即時立替　▲勤人秘密融通　▲京城永樂町　商品陳列館前　江州屋本店　221
礦物定量分析　京城府太平通（朝鮮公論社左小路）　一三四四番　坂元分析所　252
▲外務員至急採用　希望者は自筆履歷書郵送あれ　京城本町二　山口吳服店　明治生命保險株式會社京城代理店　262
立替資金　年金恩給受領の方へ　並に公債證券買入　仁川山手町六川通　仁川米穀會社內　會田　462

女鳩

渡邊默禪

「二二三」みだれ心

住江の手紙には、先づ秀子と輝子とが九段上で密會したのを認めたことから、お孝が仲に入つて橋架しをしたこと。それから自分や家扶の苦情を空吹く風と聞流して、つまらぬ虚榮のために千圓近くの散財をかけ假裝舞踏會を邸内に開いた始末。與庭での輝子も假裝して紛れ込み、自分が二度目の密會を遂げたこと。二人の話を木隱で聞いて驚いたその時の模樣。當夜餘興場でこつそり寫眞を撮かへてやつた爲め、輝子は度肝を拔かれて翌日電話をかけて來たことなどを、細かなところに行渡つた婦人の觀察で、いと克明に書いてあつた。その眞中頃に

右のハンスマルラーとかいふ人の寫眞を別封でお送り申します。能と名前は書きません。よく御覽くださいませ。これは後々の證據になる品ですから御大事にお取置き下さるやうに。

鳩子樣、貴女樣はこの寫眞を御覽になりまして、どんなお心持がなさいます。つひ御出發のその日まで、貴女樣は眞實の姉上樣として秀子樣をお見上げなさいましたでせう。この手紙を御覧遊ばす一分間前までも、さう思召してゐらしつたでせう。そのいとしい御姉上樣が、女優と異國の遊蕩兒との間にできた私生の子とお分りになりましたら、嘸お驚き遊ばすでせうし、又たお悲しみ遊ばすことでせう。貴女樣のお胸の中は手にとるやうに想像されまして、私しは斯う申上げるうちにも涙がこぼれます。

お父樣にこの事をお知らせ申すのが宜しいか、お耳に入れずに置く方が宜しいか。私しには一寸判斷ができません。それゆゑ取敢ず貴女にだけ内々に申上げて、篤と御考へ遊ばすやうにお勸め申すので御座います。

鳩子樣。貴女は大變な問題にとらへられてお仕舞ひなさいました。如何遊ばします御心ですか。お父樣に打明けて御相談遊ばしますとも、内々に遊ばしますとも、それは貴女樣の御心任せでございますが、いづれに致しましても大河野家御一門の御名譽、貴族としての體面、私情よりは正理、秘密よりは公道と申すことをお心におとめ遊ばして、きつぱりとした御處置を遊ばせ。私しはそれのみ神かけて念じます。」

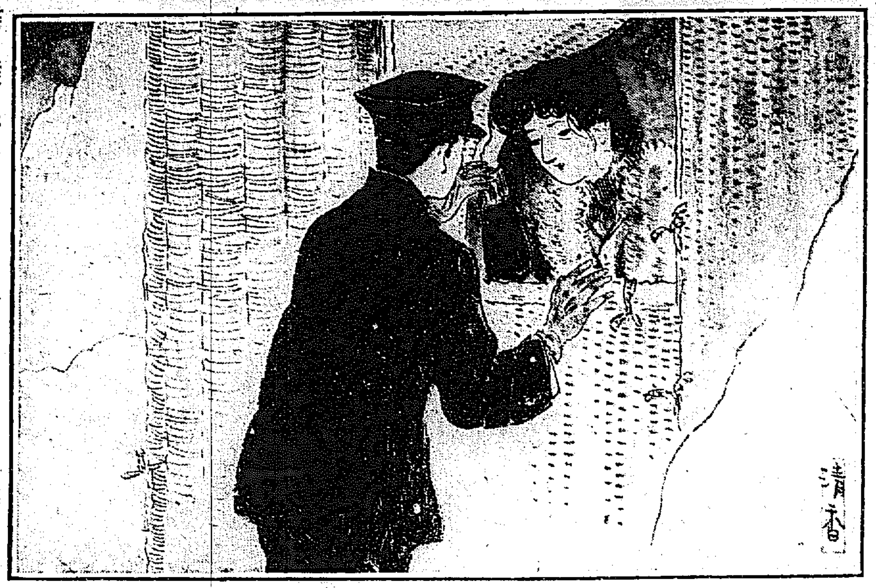
鳩子はこの手紙を通讀したとけで、寫眞の方は見る氣にはなれなかつた。先刻紡端書だと思ひ遊びをして、父の前で開封したかつたのがまだ好かつたくらゐだと思はれた。

彼女の心はたゞ秩序もなく掻き亂れるだけで、どうといふ分別も思慮も生れて來なかつた。小さくして且つ脆く、デリケートな主成分にのみ富んだ頭腦は、不意に打突つて來た此の大きな問題で、ぐつと壓しつけられるその重量に耐へ切れず、ちやうど蜂窩の上に石でものせられたやうに、滅離々々とした痛い響を感ずるのみであつた。智の力といふものは全く蓋をしたやうに閉ぢられて了つて、弱い感情だけが盲目的に跳り廻つた。ずきくする顳顬を指で抑へて、じつと頭を伏せてゐるうちに情ないと悲しいとを醱酵させた熱い泪が、ほろくと掌を辷り落ちた。近くで父と生駒とが何か話をしてゐる聲音も、隣の小舍のざれ唄もさつぱり耳に入らなかつた。

その時、低い窓の外にきゆうきッと雪を踏みつける靴の音がした。

「お嬢さん、お嬢さん。」

窓から顔だけ出して、低聲で我を呼ぶのが大野だつた。



京城旭町一丁目四番地（旭町上る左へ入る）
外科 花柳病 皮膚科 耳鼻 咽喉科
内科
島崎病院 電話三七三六番
診察夜九時迄 院長 醫學士 島崎龍一
手術室新設、隔離室、普通病室設備 入院隨意

秋晴行（上）

黄州まで車中 坡柳

泥まるみの綿の咲く
蕎麥咲く溝りのうるみ
仰ぐ女郎花のさやかな空
黄州旅舍
屋根の南瓜とつぷりと夕づくる
月のコスモスと下駄引ずりて
翌午後伴はれて得月山に登る
町に遠ざかる叢のかたし
秋草色が濃ひて蟲の蟲啼く
秋晴れの岩の上にマツチ置く
歌ばりし初茸などを見す
釣鐘草の岩にすべりぬ
草に搖がれ出づ足もと唐辛子
黑牛趁ひ下る綿畑長し
二夜重ねし黄州を出づ
菜畑の露にながゆく日ざし

新刊紹介

▲教育繪雜誌日本幼年 本誌は兒童研究の大家倉橋文學士の監修に成り繪やお噺の内容繪風色彩の趣味は勿論、一寸した筆つかひ言葉使ひの末までも細密なる注意を以て編輯されたれば三歳より十歳位までの子供には心性の上に好影響を與へ良感化を及ぼす點からすとて昨今非常に好評を博しつゝあり（東京市日本橋區蠣殼町外東京社）

▲實業之日本（九月十五日號） 大倉喜八郎日比谷平左衛門、村井吉兵衛氏等實業界著名の士の『余が致初の資本』といふ立志談あり、又日下各銀行にて持餘し居る多數の遊金をどうするかとの問題につき和田豐治、志立鐵次郎氏等實業界錚々の名ある人士に依つて明答を與へられ、其外南洋の五大有利事業の紹介あり新渡戸博士の論文『全米國を風靡しつゝある新文』浮田博士の『全國青年會へ僕の注文』等實業哲學』など斬新の文字全卷に横溢せり

▲小學新報（十月號） 例に依つて石版數度刷の美麗なる口繪七頁を附し蓋當二三年以上の兒童に對し最も注意深く且つ懇切を極めたる記事は良家の子女の讀物として理想的なり價亦た廉にして附録には懸賞彩色エハガキあり（八錢東京中澁谷小學新報社）

▲講談落語新十八番 今や講談落語の速記本の世に持て囃さるゝ事夥く許りにて之等同種類の雜誌の發行さるゝもの尠からざるが中に常に一宗の見を有して獨得の長所あるを以つて斯道の各大家が十八番の得物中最も得意とせる讀物を選び之を講談落語新十八番と題して陜々しく世に出せり一度繙けば卷を措ふ能はざる底の面白さは同誌の誇として自負する處にして加之も此號より編輯法に一大革新を施せるは一般讀者と相俟つて斯界の精華たるに背かず猶ほ小山内薫岡本綺堂爾氏が顧問に成る小說は同種類の雜誌に見られざる異色たり

▲青年修養演説と式辭 大正新時代の啓發指導者たる大隈首相を始め朝野の政治家教育家學者實業家等の代表的大演說と實際的式辭とを以て成れる同書は特に優待券を挿入して演說文案の無料作成に應じ尚諸般の調査相談をも爲す由なれば青年は勿論青年團に關係ある人には好參考書として座右に備へなば便宜少なからざるべし（特價四十五錢 東京市淺草區光町二八圖南堂）

◎初秋と腦神經 蟲の聲、木々の梢も早や初秋の氣分が漲る今日此頃は今迄暑さの爲め弛み切つた腦神經も次第に緊張して、銳い感腦力を持つ樣になると兎角異狀を呈し易い全く氣候の變遷期が一番注意を要する時である神經衰弱やヒステリーに罹るのも眞夏の頃よりか却て初秋の頃に多い神經衰弱も露して來ると眞實の狂人と少しも變らない動作を演ずる事がある、クラブトエービングと云ふ神經學專門大家は今日の神經衰弱症を豫防撲滅するには文明開化の螺旋を逆戻りに引返さなければならぬと言てゐる、實際此頃は腦神經の衛生を解るの樣充分注意すべき時である、絕えず科學的研究をなし最近高投藥を配伍せる腦神經病特效藥として有名なる丹平商會發賣の健腦丸杯を常に服用するが宜い、同劑は近時頓に製産額を增加して益々發展を見むとするは全く服用患者が賞賛して其適確な効果に信頼するからであらう

◎大崎組の組織變更 金鶴香水ツル香水を販賣に鑑賞油輸輸商として其名夙に斯界に知られる大阪大崎組商會は業務の發展に連れ今般營業組織を金二十五萬圓の合資會社に變更し一層業務の擴張を計ると云ふ

▲廣告▼

目ニ見ヘテ ズンズン ドンドン キク シュマズ イタマヌ
井上博士 ロート目薬

眼病を、不潔い布や指頭で摩るのは目の爲に悪いから消毒した布と、下圖の様な新案の點眼器をロート目藥に添えてある
定價 全國各藥店にあり 大瓶 小瓶 十錢
本舖 東京…大阪…山田安民藥房

たび 登録商標
販賣元 伊豫國宇和島 岡足袋上下各種 自働車ゴム底足袋 先皮付系組底足袋 千枚底及外縫鞋掛
代理店 大阪南區空堀町 伊勢金製造所 飯田支店
定價表呈 見本郵券封入又引替小包送

月やく
なきに御困りの方は郵券三錢封入左記に御照會あれ 妙藥知らす
京城黄金町三丁目 山田志づゑ

公示催告

大正五年甲第一四八一號

香川縣高松市古馬場町參番戸
申立人 武田彌一郎

一、貨物引替證書 壹通

但荷送人前同所武田彌一郎荷受人京城南大門北原源吉引渡地京城作成地高松途物板ノ箱入八個原價八拾四圓六拾錢第九九號大正五年八月九日高松市新港町四丁目内國通運株式會社高松取引店發行

右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ因リ其の所持人ハ大正六年四月參拾日午前拾壹時迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且右證券ヲ提出スヘシ若シ其屆出ヲ爲サゝルトキハ其ノ證券ノ無效ヲ宣告スルコトアル可シ

大正五年九月二十日

京城地方法院

新刊書御案内

書名	著者	定價
袖珍全集日記及消息 第六卷		一、五〇
美術 立體派と後期印象派	久米正雄	一、五〇
詳解佛蘭西文典	折竹錫	一、五〇
春浪快著集 第二卷	押川春浪	一、〇〇
小說 愛	雛 著	三〇〇
力の生活	[illegible]	八五
鬼の面	[illegible]	八五
宗教と人生	[illegible]	一、三〇
一喝禪	[illegible]	九〇
清教徒神風連	[illegible]	一、二〇
大英國の危機	[illegible]	七五
散文集 自然と愛	[illegible]	五五
修養 大正青年と修養	[illegible]	六〇
修養 婦人實業立身傳	永田[illegible]	五〇
修養 青年立志編	永田[illegible]	五〇
探偵十八番	[illegible]	三五
四季の料理	[illegible]	四五
朝鮮人の衣食住	[illegible]	二五
先有石攻合法	中川[illegible]	一二〇

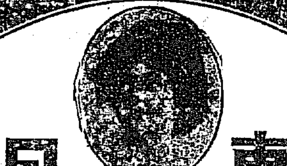
大阪屋號書店 京城本町 電六八四・二〇八六 振替京城二五七三

とうにょうびょう 糖尿病者に 効力正しき良藥あり困難者はハガキにて申込め無料詳報す
兵庫縣明石東本町 長井家

腕卷時計 金側 自二十三圓 至五十五圓 銀とニッケル 腕卷時計 自四圓 至二十圓
貴金屬品は 豫て珠玉の寶石類と共に御愛撫すべき逸品の取揃へにて御要求を滿して遺憾なき選品取揃へ居候
京城本町二丁目 村木時計舖 京城支店 電話四七一番

産婦人科
本院 京城旭町一丁目 電話一三四〇番 診察午後
分院 龍山漢江通（伊町） 電話一〇六番 診察午前
院主 衣笠 中央婦人病院

眼科大醫にして高峰博士發見のアドリナリンを點眼料に處方せざるものなし
アドラは一流大家の點眼料と等しきアドリナリン配合の眼病神藥なり
定價 大瓶金貳拾五錢 小瓶金拾錢
市内及全國有名藥舖にて販賣す
東京室町 泰昌製藥株式會社


東京一の 香氣が良くて 垢がよく落ち 肌を美しくする お誂へ向の石鹸 は 日本一の エンゼルソープ
東京 丸の内 藤原商店化粧品部 支店 京城黄金町二丁目

名優森律子を初め日本中第一流の名優を煩はして自身に吹込まれたる肉聲原盤音譜は日本中獨り富士山印東京れこをどあるのみなり。不斷の努力を以て毎月廿五日必ず十枚宛の新音譜を發賣し居るも獨り弊社あるのみ。美麗なる目錄無代進星
東京日本橋區新右衛門町◎振替東京一九四九番
東京蓄音器株式會社
朝鮮の主要なる都市に於て代理店御希望の方は即時申込まれよ、條件簡易、利益獨占的

攝津灘 大塚醸造所吟製
京城本町二丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四三五

内科 小兒科 入院隨意
京城明治町（元普隣學校跡） 中島醫院 電話三七八番
院長 中島貞信

和洋ストーブ一式 煙突製造 ストーブ据付 硝子ペイント塗料
京城本町二丁目（電話三二三番） 岩見伊勢松商店

花柳病專門藥房
◎りん病藥壹週分普貳圓特製參圓 ◎ばい毒藥壹週分普壹圓廿錢特製貳圓 小包料拾貳錢引換廿壹錢
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會 本部
電話二五六七番 振替京城四六七番
◎近來東京其他各地に僞ドラッグあり藥品に有田製鑑なき物は凡て僞物に付御買取の際御注意を乞ふ◎詳細は本月四日の本紙を御覧

日本郵船仁川出帆
大連、太沽、牛莊行
相模丸 十月 九日 正午出帆
高砂丸 十月十九日 正午出帆
三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
君が代丸 十月三日後四時 群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪直行
大有丸 十月 四日後四時出帆
神代丸 九月 日後四時出帆
秀吉丸 九月三十日後四時出帆
仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
京城荷客取扱店に依る電話本社長一九五二番 鐵道各驛と連絡し京城南大門に代理店を設けたる
全羅丸 十月 九日
京畿丸 九月廿九日
黄海丸 十月 二日
成鏡丸 十月十三日 釜山發
門司より釜山各港寄港經由航路
穩城丸 十月 一日
昌平丸 九月廿八日
鏡城丸 十月 四日 元山發
元山より各港經由雄基行
忠清丸 十月 二日
平壤丸 九月廿七日 元山發
城津清津經由雄基行又は長崎行
永興丸 毎月廿八回 元山發
北久味、五里浦行
會寧丸 十月 日 釜山發
甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行
江陵丸 每 日 釜山發
咸陽丸 每 日 浦項發
長生浦方魚津寄港
三浦丸 十月 六日 釜山發
長承浦、巨文島各港寄港濟州島各港行
海州丸 ◎統營丸 每日 釜山發
各港經由麗水行
順天丸 三日目毎ニ 木浦發
各港經由麗水行、麗水より釜山行に連絡
慶興丸 十月 四日 木浦發
各港經由濟州島行西廻
慶興丸 十月 二日 木浦發
濟州島行
宗信丸 十月 三日 仁川發
海州他各港經由、鎭南浦又は白翎島行
公州丸 九月廿四日 木浦發
各港經由濟州島行(東廻)
江原丸 九月廿五日 仁川發
唐島、大連、芝罘行
晉州丸 九月廿七日 仁川發
各港經由木浦行
全州丸 十月 二日
南陽丸 毎日午前 仁川發
江華島、海州行

大阪商船仁川出帆
外航航路は五分引を以て連絡切符發賣仕候
群山、木浦、釜山、神門、神戸、大阪行
須磨丸 十月 四日 後五時出
安東丸 十月 一日
安智丸 九月廿四日
木浦、釜山、鹿原、鄕の浦、長崎行
信濃川丸 十月二十日 後二時出
群山、釜山、横濱行
福州丸 九月廿七日 後二時出
潮州丸 十月 九日
木浦釜山關門、神戸、大阪行
淳州丸 九月廿七日 後二時出
鎭南浦、大連行
信濃川丸 九月廿七日 後二時出
信濃川丸 十月十五日
大連直行
福州丸 十月 三日 正午出帆
潮州丸 九月廿三日
鎭南浦行
天智丸 九月 日 正午出帆
清津、浦潮行(元山出帆)
印城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
安平丸 十月 六日 後二時出
宮島丸 十月十二日
上海、基隆、打狗行(大連出帆)
基隆丸 九月廿四日 後四時出
湖北丸 十月十一日 前六時出
御注意
◎朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社線との聯絡切符發賣仕候 ◎船客は本船出帆一時間前に運輸承取扱の事 ◎×印は一等客休憩室設備ありム印は締切
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二〇番五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番
◎中國四國各港行船客に對し一割引を以て乗船切符發賣仕候

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 關東都督府命令船
第十六 共同丸 九月二十二日後四時入 九月二十四日正午出帆
朝鮮總督府命令航路ニシテ專用漁場經由朝鮮沿岸ニ入港シ、定期船ヲ以テ仁川ヨリ元山西湖津ニ寄港ス
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆)
第一 阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三 共同丸 元山出帆 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目 電話(〇八番) 山下回漕部
元山代理店 香日町 電話二四七番 田口回漕部
京城取次店 南大門 電話二三八・二一〇七 河村運送店

商況
十一月限 十二月限 一五二〇〇 一五二二〇
一五二〇〇 一五二一〇
値 一二八〇 一三二二 一三四五
一二七六 一三〇五 一三三五

▲依然閑散 天候悩りつゝ晏天大阪後遂に壽せす…
▲續て保合 大阪は不出來… 保合に…
▲現物來 永く手口なく押目は…
出來高 六千五百五十石
平均 …
邑内面東里生れの李鍾㦤(二七)は妻李姓女との間に本年四月生れの子供を…